

年報

No.23

平成4年度

佐賀県立博物館

佐賀県立美術館

はじめに

このたび、平成4年度の博物館及び美術館事業のまとめといたしまして、年報第23号を刊行いたします。

所蔵する基本資料の常設展は、博物館において「佐賀県の歴史と文化」をテーマに自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗の各部門で、「理解しやすさ」を目標にした展示を試みました。昭和62年度から始まりました「小さな展覧会」もテーマ展示へと衣替えを行ない、「中国・朝鮮の美術」・「くらしの造形―包み―」・「佐野常民」展等、多彩な展示で多くの方々に好評を得ることができました。

美術館の常設展は、「近代の美術」をテーマに「古賀忠雄の彫塑」・「現代美術の断面」・「近代洋画と白馬会」等の展示をし、県民の鑑賞に供することが出来ました。

企画展といたしまして、博物館では弥生文化に焦点を当てた「弥生のロマン―倭人の原像を求めて―」を、開催いたしました。美術館では「鍋島緞通―もめんの華―」を実施し、中国伝来の技術を佐賀平野の綿に融合させた肥前緞通の芸術性を追求した展覧を試みました。また、福岡・佐賀・長崎の3県が合同企画いたしました「黄檗禅の美術」は、九州の仏教美術に新たな視点を与える企画となりました。その他、多くの展覧会が開催されましたが、これもひとえに関係された皆さんの御協力のおかげと感謝しております。

県民に親しまれる開かれた博物館・美術館をめざして、学芸員の日頃の調査・研究の成果を講演会や土曜教室において発表し、今年度も外部講師の御協力を得て回を重ねてまいりました。

また、展示及び研究のための各種資料も本館独自の収集に加え、多くの方々から寄贈・寄託を受け、資料の蓄積が進められています。

とはいえ、博物館・美術館の周辺にはいくつかの解決すべき課題があるのも事実でございます。「新世紀の博物館・美術館像」を求めて努力せねばなりません。関係者の皆さんの、御指導と御協力を御願ひ申し上げます。

平成5年11月30日

佐賀県立博物館館長 飯盛邦尚
佐賀県立美術館館長

目 次

佐賀県立博物館及び美術館日誌	4
同組織／職員名簿／人事異動	5
同協議会委員	6

佐賀県立博物館

博物館の沿革	7
規模および施設／歳出予算	8
事業の実施状況	
1 常設展	9
2 企画展「弥生のロマン展」	14
3 資料調査	15
4 観覧状況	16
5 普及活動	18
資料の概要	
1 購入資料	20
2 寄贈資料	20
3 寄託資料	21
4 資料の貸出状況	22
5 購入図書	23
茶室「清恵庵」の管理と運営の概要	24

佐賀県立美術館

美術館の沿革	25
規模および施設／歳出予算	26
事業の実施状況	
1 常設展	27
2 企画展	
・「鍋島緞通展」	35
・第3回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展 「黄檗禅の美術展」	36
3 普及活動	37
4 資料調査	37
5 観覧状況	38
6 ホール・画廊・研修室利用状況	40
資料の概要	
1 新取蔵（購入・寄贈）資料	41
2 寄託資料	53
3 資料の貸出状況	53
平成5年度職員名簿	54

佐賀県立博物館及び佐賀県立美術館日誌

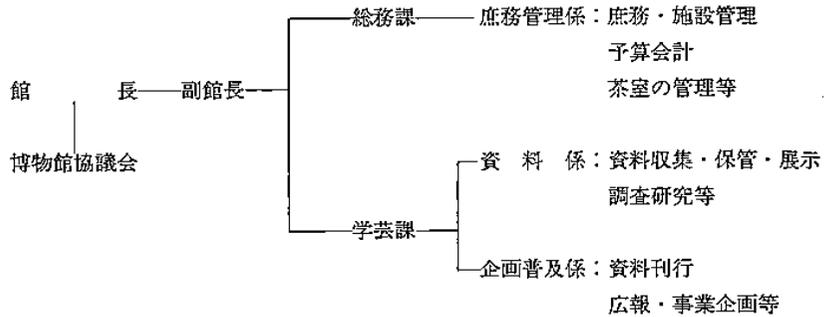
平成4年

- 4月1日 職員人事異動(5頁参照)。
- 6月10日 アセアン混成教員グループ団員約30名来館。
- 6月12日 国際交流室技術研修団一行来館。
- 6月15日 美術館収蔵庫くん蒸消毒(18日まで)。
- 7月11日 中華人民共和国福岡総領事呉治安氏外、常設展見学。
- 7月20日 博物館学実習開講(29日まで、19頁参照)。
- 7月20日 美術館実技講座「石膏像デッサン教室」開講(深川善次講師、24日まで、37頁参照)。
- 8月6日 博物館、第1回県内社寺調査委員会。
- 8月11日 紀宮清子内親王殿下、御視察。
- 8月26日 博物館・美術館協議会(委員10名出席)。
- 8月27日 教員初任者研修(県内小中高校新採教員約300名参加)。
- 9月6日 国際陶芸アカデミー会長外3名、常設展視察。
- 10月9日 美術館企画展「鍋島緞通一もめんの華一」開場式(35頁参照)。
- 10月15日 博物館民俗資料一部、県立有田工業高校旧校舎に移送。
- 10月22日 湯下駐ベトナム大使来館。
- 11月3日 博物館常設展無料公開。
- 11月8日 韓国中央博物館朴永福氏来館。
- 11月17日 博物館屋外展示場アラカシの実採集(県林業試験場)。
- 11月27日 美術館、第1回「彫刻の森(仮称)」合同委員会(互助会館)。
- 11月28日 博物館常設展「佐野常民展」のため、常民の曾孫常行氏来館。
- 12月5日 第46回九州藝術学会(美術館画廊・研修室)。
- 12月28日 消防避難訓練、執務納め式。

平成5年

- 1月4日 執務始め式
- 1月6日 博物館空調和設備改修工事にもない大展示室臨時閉室(3月31日まで)。
- 1月12日 博物館空調和設備改修工事にもない収蔵庫資料一部移動。
- 1月15日 博物館・美術館、常設展無料公開。
- 1月19日 東京国立文化財研究所中村節子氏来館、パソコン研修(20日まで)。
- 2月10日 博物館企画展「弥生のロマン展」開場式(14頁参照)。
- 2月17日 バルーン交流生徒訪問団一行来館。
- 2月20日 第7回日本近代美術研究会開催(美術館1号A)。
- 2月25日 美術館、第3回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「黄檗禅の美術」開場式(36頁参照)。
- 3月12日 博物館、名護屋城跡調査研究室と意見交換会(資料の移管に就いて)。
- 3月24日 美術館2号展示室クロス張り替え。

組 織



職 員 名 簿 (平成4年4月1日現在)

課 名	職 名	氏 名	課 名	職 名	氏 名	
館	館 長	武 藤 佐久二	学 芸 課	学 芸 課 長	木 下 巧	
	副 館 長	小 宮 睦 之		資 料 係	資 料 係 長	宮 崎 武 夫
総 務 課	総 務 課 長 (庶務管理係長事務取扱)	菊 池 文 夫			主 学 芸 査 員	宮 原 香 苗
	専 門 員	一 丸 正 美			主 学 芸 査 員	川 副 義 敦
	主 査	古 賀 恭 子			主 学 芸 事 員	竹 下 正 博
	主 事	赤 星 由 季 子		非 常 勤 嘱 託	浜 野 四 郎	
	主 事	石 橋 邦 広		企 画 普 及 係	企 画 普 及 係 長	松 本 誠 一
	技 術 員	戸 川 内 匠			主 学 芸 査 員	瀧 原 宏 行
	事 務 員	坂 井 卓 次			主 学 芸 査 員	福 井 尚 寿
	事 務 員	小 石 武 彦			主 学 芸 事 員	山 崎 和 文
	非 常 勤 嘱 託	牟 田 壽 吉			計 21名	

※浜野四郎は11月30日付で辞任、同職には12月1日付で今川泰靖が着任。

人 事 異 動 (平成3年4月1日付)

転 入			転 出		
専 門 員	一 丸 正 美	県立病院好生館主査より	学 芸 課 長	樋 渡 敏 暉	名護屋城跡調査研究室長へ
学 芸 員	川 副 義 敦	県立佐賀西高教諭より	主 査	古 川 宣 明	県立病院好生館主査へ
主 事	石 橋 邦 広	厳木小主事より	主 査	古 澤 貞 善	県立金立養護学校主査へ
昇 任					
学 芸 課 長	木 下 巧	専門員より			

佐賀県博物館及び美術館協議会

委員名簿 (定数 14名)

任期：平成4年7月25日～平成6年7月24日

区 分	氏 名	役 職 名	住 所
学校教育 関係者	鶴 田 松 二	佐賀県公民館連合会副会長	〒849-11 杵島郡白石町福田1800-8
	北 村 照	佐賀県高等学校長協会	〒843 武雄市武雄町大字武雄7365
	尾 形 善次郎	佐賀県小中学校校長会	〒846 多久市北多久町小侍1112
	森 田 喜久也	佐賀県理科教育振興会	〒840 佐賀市本庄町大字袋369-7
学 識 経 験 者	松 本 シゲノ	佐賀県地域婦人連絡協議会会長	〒840 佐賀市嘉瀬元町2078
	大 塚 巖	佐賀県文化団体協議会会長	〒840 佐賀市本庄町本庄1137-23
	吉 田 進 一	佐賀美術協会理事長 (九州龍谷短大教授)	〒840-22 佐賀郡川副町犬井道47
	岩 田 英 則	佐賀県議会議員 (文化厚生常任委員会委員)	〒840 佐賀市中央本町2-11
	中 村 質	九州大学文学部教授	〒813 福岡市東区美和台7-17-8
	深 川 善 次	佐賀美術協会理事	〒840-23 佐賀郡川副町大字南里557-3
	米 倉 利 昭	佐賀大学教育学部教授	〒840 佐賀市赤松町7-13-302
	佐 田 茂	佐賀大学教育学部教授	〒815 福岡市南区高宮2-9-27-303
	錦 織 亮 介	北九州大学文学部教授	〒811-02 福岡市東区高美台1-1-7
	吉 野 徳 親	佐賀新聞社編集局長	〒840 佐賀市大財4-4-3

開催状況

(第1回)

- ・平成4年8月26日(水) 於：県立博物館 応接室
- ・議 題 ア 委員長、副委員長選出
 - イ 平成4年度予算及び特別企画展について
 - ウ 博物館、美術館の企画展及び常設展の観覧料無料化について
 - エ 博物館、美術館の入館者について
 - オ 県内社寺資料調査事業・彫刻の森(仮称)整備事業について
 - カ その他

(第2回)

- ・平成5年2月18日(木) 於：県立博物館 応接室
- ・議 題 ア 平成5年度予算(案)について
 - イ 平成5年事業計画(案)について
 - ウ その他

平成4年度

佐賀県立博物館

博物館の沿革

- 昭和26年4月1日 佐賀県文化館設置条例制定、佐賀県文化館が設置される。
- 昭和35年4月1日 佐賀県文化館設置条例を博物館登録のため改正。博物館法第10条に基づき佐賀県文化館を博物館として登録する。
- 昭和36年、新博物館建設の気運が高まり、41年度に調査費計上。
- 明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定、昭和43年度に設計を委託し建設計画に着手し、昭和43年度から昭和45年度にわたる継続事業として建設することとなる。
- 昭和44年1月21日 佐賀県博物館建設整備委員会を設置。
- 昭和45年3月31日 佐賀県文化館設置条例廃止。
- 昭和45年4月1日 佐賀県立博物館設置条例公布。佐賀県立博物館協議会条例公布。佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
- 昭和45年7月1日 佐賀県立博物館完工。佐賀県立博物館設置条例施工。博物館開設準備事務局廃止。博物館職員が発令、館長以下18名。佐賀県立博物館協議会条例施行。
- 昭和45年7月16日 佐賀県立博物館協議会委員を任命。
- 昭和45年10月14日 佐賀県立博物館開館記念式典挙行。
- 昭和47年3月4日 鉄器減圧樹脂含浸装置を研究室に設置。
- 昭和48年10月10日 茶室「清恵庵」を、市村清氏のご遺志により市村幸恵夫人から寄贈を受ける。茶室落成式。
- 昭和50年9月20日 古賀忠雄作「岬の男」(ブロンズ) 前庭に据付完成。
- 昭和51年9月18日 皇太子殿下、同妃殿下「柿右衛門名品展」ご観覧のためご来館。
- 昭和51年10月22日 天皇陛下、皇后陛下「若楠国体芸術展」ご観覧のためご来館。
- 昭和52年12月12日 佐賀藩鍛造鉄製「カノン砲」(復元) 玄関前据付完了。
- 昭和53年5月4日 常陸宮殿下、同妃殿下常設展「佐賀県の歴史と文化展」ご観覧。
- 昭和53年11月5日 茶室「清恵庵」開室5周年記念合同茶会開催。出席者約1,500名。
- 昭和54年7月19日 入館者総数100万名に達する。
- 昭和55年4月23日 古賀忠雄氏遺作(232点) 遺族より寄贈。
- 昭和56年4月17日 山口猛彦氏遺作(34点) 遺族より寄贈。
- 昭和57年5月10日 鍋島則子氏より工芸品(85点) 寄贈。
- 昭和58年2月7日 御厨俊江氏より御厨純一氏の作品(28点) 寄贈。
- 昭和61年3月17日 佐賀植物友の会(須古将宏会長)から植物腊葉(さくようーおしば)18,000点の寄贈。
- 昭和62年5月23日 天皇陛下、「森林と文化展」ご観覧のためご来館。
- 昭和63年4月15日 入場者総数200万名に達する。
- 昭和63年8月31日 木材恒久保存処理機 夕吹2000を導入。
- 平成2年3月31日 過去最高の入館者数189,000名を記録(平成元年度の入館者数)。
- 平成2年10月6日 佐賀県立博物館開館20周年記念「佐賀の名宝ーいろいろかたちー」展を開催。
- 平成4年3月30日 佐賀県立博物館及び佐賀県立美術館の使用料に関する条例の一部改正。
(高校生以下及び心身障害者等の無料化)(施行4.4.1)。
- 平成4年8月6日 第1回県内社寺調査委員会(以後、4年計画の調査に入る)。
- 平成4年8月11日 紀宮清子内親王殿下、御視察。
- 平成4年9月30日 空調調和設備改修工事(平成5年3月25日まで)。
- 以上のほか、多くの方々から貴重な資料を寄贈して頂きました。
ここには点数の特に多いもののみを記載しました。

規模および施設

本館

構造	鉄筋コンクリート造	3階建
規模	敷地面積	30,926㎡
	建築面積	2,149.1㎡
	延床面積	4,638㎡

茶室

構造	木造平屋建	
規模	床面積	57.35㎡

施設

ロビー (案内所・常設展受付)	349.5㎡
1号展示室	193.6㎡
2号展示室	352.0㎡
3号展示室	484.0㎡
大展示室	523.5㎡
中展示室 (博物館教室)	136.0㎡
収蔵庫並整理室	524.0㎡
研究室	66.0㎡
館長室・応接室	60.0㎡
事務室	80.0㎡
資料調査室	64.0㎡
茶道具庫	24.0㎡
車庫	56.0㎡
荷解場	86.0㎡
電気室	48.0㎡
ボイラー室 (制御室を含む)	181.0㎡
その他	1,410.4㎡

歳出予算

科 目	予算額 (単位千円)	科 目	予算額 (単位千円)
(博物館費)		4 企画展費	12,813
1 博物館運営費	39,250	企画展開催費	11,165
管理運営費	36,397	企画展紹介費	1,648
会議及び研修費	481	5 常設展費	2,169
博物館協議会費	399	常設展示費	2,169
非常勤嘱託報酬	1,973	6 普及活動費	34
2 資料整備費	15,438	研究講座費	34
資料購入費	8,000	7 資料刊行費	468
資料整理費	7,211	8 茶室管理費	227
資料収集費	227	9 施設整備費	160,169
3 調査研究費	812	10 資料目録刊行費	6,886
研究費	155	11 佐賀県寺社資料調査費	2,500
調査費	657		
次年度調査費	113		
歴史美術調査費	75		
考古資料調査費	34		
調査刊行費	435	計	240,766

事業の実施状況

1. 常設展「佐賀県の歴史と文化」

会期 第1期 平成4年5月23日～7月26日
 第2期 7月31日～11月3日
 第3期 11月28日～平成5年2月3日
 第4期 3月20日～3月31日

会場 1号、2号、3号、大展示室

内容 自然(1号)・考古(2号)・歴史(2号)・
 美術(3号)・民俗(大展示)の順に展示し、各
 部門の展示資料を通して佐賀県の歴史と文化を
 紹介した。概要は次の通り。

☆自然

佐賀県は九州の北西部に位置し、北東部は福岡県、
 西部は長崎県に隣接する。北は対馬暖流が北上する玄
 海灘に面し、南は日本一の干満の差で有名な有明海が
 広がっている。

佐賀県を地形的に大別すると、脊振山地、西部丘陵
 地、多良火山地、佐賀平野の4地域に分けられる。脊
 振山地は県北部に横たわる脊振山、金山、九千部山な
 どの山地で、古生代末期の三郡変成岩類と、これに貫
 入した中生代白亜紀の花崗岩類で構成されている。西
 部丘陵地は八幡岳・黒髪山・国見山などを含む熔岩台
 地で、新生代第三紀の堆積岩類と、その上に噴出した
 第三紀末から第四紀初めの各種火山岩類で構成されて
 いる。玄海灘に面した北西海岸はリアス式海岸で、島
 嶼部は西部丘陵地熔岩台地の延長とみられる。多良火
 山地は、佐賀県最高峰の経ヶ岳・多良岳など第四紀初
 期に形成された安山岩質の成層火山と熔岩台地で構成
 されている。佐賀平野は新生代第四紀沖積世に、筑後
 川・嘉瀬川・六角川などによってつくられた複合三角
 州で、表層は有明粘土層で下層は洪積世の堆積物が存
 在する。

佐賀県産の化石は、新生代5000万年前以降にできた
 第三紀～第四紀の二枚貝・巻貝・オウムガイなどの軟
 体動物やサメの歯・ナウマンゾウ臼歯などの脊椎動物、
 メタセコイヤ・ハス・ヤナギ・珪化木などの植物の化
 石が産出する。

動物では、シギ・チドリ・カモ類など多くの渡り鳥
 の飛来地・休息地として有明海は日本有数の地であり、

現在までに佐賀県から記録された野鳥は300種以上
 のぼっている。県鳥カササギは、国の天然記念物とし
 て大切に保護されている。アリアケシラウオ・ヤマノ
 カミ・ワラスボ・チクゴエビ・アリアケガニは有明海
 だけに生息する特産種であり、ムツゴロウは珍魚とし
 て有名であるが減少がはなはだしく、県有明水産振興
 センターでは人工交配による増殖を試みている。また
 「生きた化石」と呼ばれるオオシャミセンガイ・ミドリ
 シャミセンガイ・伊万里湾のカプトガニ、背振山地・
 多良火山地のムカシトンボは、地質時代の生き残り生
 物として有名である。

植物では、山地に常緑広葉樹林を主とした自然林も
 点在しているが、ほとんどがスギ・ヒノキの人工林と
 なっている。代表的な自然林は、背振山地のブナ林、
 多良山地のモミ林、背振山地・多良火山地・西部丘陵
 地のカシ林、玄海灘沿岸・島嶼部のタブ林などがある。
 佐賀県で発見された原産地植物としてはカネコシダ・
 クロカミラン・ハガクレカナワラビ・キュウシュウコ
 ゴメグサ・リュウゾウシヤナギ・クセンブツツジなど
 がある。この他特筆すべき事項としてミツガシワやエ
 ヒメアヤメの自生、またクスノキは佐賀県を代表する
 樹木である。

①佐賀県のおいたち

佐賀県地形模型、佐賀県の地質・地史

②佐賀県の岩石

球状閃緑岩・花崗岩・石灰岩・火山弾 ほか

③佐賀県の化石

ヨコヤマオウムガイ・シキシマバス ほか

④佐賀県の植物

クロカミラン・カネコシダ・アオホラゴケ ほか

⑤佐賀県の昆虫類

チョウ・トンボ・カミキリムシ ほか

このうちグンバイトンボは、県内では1973年に絶滅
 したものだと思われていたが1991年に再発見されたも
 ので、北部九州では唯一の、また国内最西端の産地と
 あり貴重なものである。

⑥佐賀県の野鳥

カササギ・キジ・ヤマドリ・フクロウ ほか

⑦カプトガニの生態

⑧模型類

有明海干潟生態模型

エヒメアヤメ生態模型

森林の生態模型

森林の働きの模型

タイラノサウルス模型ほか

また、下記のコーナー展示を行った。

「昔のいきもの―化石―」（5/23～7/26）

「佐賀の昆虫類」（7/31～11/3）

「岩石と鉱物」（11/28～2/3）

「干支の動植物」（3/20～）

☆考古

旧石器時代・縄文時代

近年我が国の旧石器文化探求の勢いは目ざましく、10万年以前の前期旧石器文化の様相もかなり鮮明になりつつある。本県の資料は後期から終末期のものに限られるが、多久市鬼の鼻山（安山岩）や伊万里市腰岳（黒曜岩）などの石器素材原産地を中心に特色ある石器文化が展開している。

縄文時代も基本的には採集経済の社会であったが、石器とともに土器が用いられるようになり、人々の食生活は一層安定した。

① 石器を使った人々―旧石器時代―

- 石器に使用された原石
- 旧石器時代末期の各種石器

② 土器を使うくらし―縄文時代―

- 縄文時代早～前期の土器と石器
- 縄文時代中期の土器と石器
- 縄文時代後～晩期の土器と石器

弥生時代・古墳時代

弥生時代になると水稲耕作中心の生産経済社会となり、各集落の統合・離反の中から、やがて部族国家が形成されてゆく。本県は特に大陸文化を受容し、それを日本化していく弥生文化播種の地として重要な位置を占める。

古墳時代は前方後円墳に象徴される権力者の抬頭と統一国家形成が進展した政治的激動期であった。同時に須恵器生産や製鉄に代表されるような先進技術が多くの渡来人によってもたらされた時代でもあった。

① 水稲農耕社会の発展―弥生時代―

- 土器の変遷
- 大陸系磨製石器
- 青銅製武器から鉄製武器へ
- 弥生人の装身具

●青銅の鏡（舶載鏡と仿製鏡）

●弥生人のまつり（銅鐸・青銅製武器形祭器）

② 古墳が築かれた頃―古墳時代―

- 古墳時代前期の土器―土師器―
- 古墳時代後期の土器―須恵器―
- 古墳時代の鏡
- 古墳時代の武器
- 古墳時代の馬具
- 古墳時代の装身具

―テーマ展示―（博物館教室）

「装身具いまむかし」

4月25日（土）～6月24日（水）

「壺の美」

7月31日（金）～9月27日（日）

☆歴史

肥前の戦国時代を征したのは五州二島の太守とうたわれた龍造寺隆信であった。しかし、龍造寺軍が島原半島で有馬・島津の連合軍に負けて隆信が戦死した後は、政権が龍造寺氏から鍋島氏に移ってくる。全国的にも豊臣秀吉によって統一がなされ、文禄・慶長の役での名護屋城の築城は肥前にとって大きな歴史上の出来事であった。

幕藩体制が整ってくると、肥前は、佐賀藩、唐津藩、対馬藩の領地に分かれ江戸時代の太平の世が続くが、長崎警備を命じられた佐賀藩は、幕末には西洋の先端技術を取り入れ、やがて起こる維新の一翼を担うことになる。これらは「はがくれ」を生む風土の中に儒学、武芸の隆盛と相まって多くの人材を輩出し近代日本の礎を築いた。

主要な展示資料は次のようなものがあります。

○龍造寺隆信・政家・高房画像、龍造寺隆信感状、紺糸威桶側二枚胴具足（伝隆信着用）、鍋島直茂・勝茂画像や自筆の書状など

○肥前名護屋城図屏風、慶長の役陣立て、朝鮮国札曹諭告文など

○長崎警備図屏風（宝永2年・正保4年）、幕末の対外関係図など・鍋島直正肖像画、直正書、忠宣公蘭艦乗込絵図、暇夷開拓勅書など

○大銃製造方絵図、公儀御石火矢鑄立方絵図、佐賀藩精煉方絵図、カノン砲雛型、佐賀藩蒸気車雛型など

○長崎海軍伝習所の図、佐賀藩三重津海軍所の図、観光丸模型など

○山本常朝筆山水自賛画、葉隠写本（孝白本外）、天縦殿扁額、聖堂三体像、古賀精里・穀堂書など

テーマ展示「佐野常民」（3号、11/28～12/13）。

また、下記のコーナー展示を行った。

「先覚者の書」（5/23～7/26）

「佐賀の文教」（7/31～11/3）

「葉隠展」（11/15～11/22）

「鍋島直正」（11/28～2/3）

「長崎警備」（3/20～）

☆美術

下記のテーマ展示を行った。

「中国・朝鮮の美術」（10/6～11/3）

〈中国〉

◎見心米復像 元時代 寄託/萬歳寺

◎以亨得謙像 元-明時代 寄託/萬歳寺

花鳥図 明時代 鍋島報効会

樹下人物図 姚沽 明時代 鍋島報効会

鷺図 明時代 鍋島報効会

双鶴図 呉煥 清時代 個人

芦雁図 辺寿民 清時代 個人

金銅観音菩薩立像 唐城は奈良時代 個人

銅造菩薩形坐像 明-清時代 法泉寺

銅造観音菩薩形坐像 明-清時代 法泉寺

銅造天部形立像 明-清時代 法泉寺

金銅閻魔王像 明-清時代 大興寺

金銅観音菩薩坐像 明-清時代 個人

金銅観音菩薩坐像 明-清時代 個人

大般若経断簡 南宋時代 岩蔵寺

◇五銚四天王鈴 唐時代

◇黒麻地二十五条袈裟 元時代 萬歳寺

紗布衫 元或は室町時代 萬歳寺

九条袈裟 明時代 萬歳寺

九条袈裟 明時代 高城寺

染付芙蓉手蓮池水禽文輪花盤 明時代 九州陶磁文化館

青磁牡丹文大皿 明時代 九州陶磁文化館

呉須赤絵芙蓉手蓮池鷺図皿 明時代 九州陶磁文化館

染付芙蓉手花木蓮池図壺 明-清時代 九州陶磁文化館

染付闘鶏図水注 清時代 九州陶磁文化館

色絵草花文皿 清時代 九州陶磁文化館

〈朝鮮〉

◇阿弥陀八大菩薩図 高麗時代 広福護国禪寺

◎楊柳観音像 高麗時代 鏡神社

◇善財童児歴参図 李朝時代 広福護国禪寺

◇楊柳観音像 李朝時代 広福護国禪寺

◇釈迦三尊および比丘像 李朝時代 広福護国禪寺

文官夫妻像 李朝時代 名護屋城跡調査研究室

墨梅図 李天祐 李朝時代 鍋島報効会

◇金銅菩薩形坐像 高麗時代 普明寺

誕生仏 高麗時代 萬歳寺

金銅阿弥陀如来坐像 李朝時代 名護屋城跡調査研究室

黒漆塗螺鈿龍文矢筒 李朝時代 名護屋城跡調査研究室

黒漆塗葡萄文矢筒 李朝時代 名護屋城跡調査研究室

黒漆塗螺鈿花鳥文箱 李朝時代 名護屋城跡調査研究室

黒漆塗螺鈿十長生文箱 李朝時代 名護屋城跡調査研究室

紺紙銀字法華経 高麗時代 鍋島報効会

紺紙銀字法華経 高麗時代 鍋島報効会

白紙金字金剛般若波羅蜜経 高麗時代 慶園寺

白紙墨字法華経断簡 高麗時代 鏡神社

「西・禽・鶏一美術工芸にみる鳥一」（12/18～2/3）

鶏図 2幅 伊藤若冲 18c/江戸

唐黍に鶏図（賛者不詳） 1幅 天龍道人 18c/江戸

遊に鷺図 2幅 等禅 16c/室町 寄託/萬寿寺

鶴図 2幅 等禅 16c/室町 鍋島報効会

松下双鶴図 1幅 岸天岳 19c/江戸-明治

四季孔雀図屏風 6曲1双 狩野高信 18c/江戸

架鷹図屏風（賛/随鴨子） 6曲1隻 作者不詳 17c/江戸

葡萄に鷹図 1幅 天龍道人 18c/江戸

若鷹初獲・鳥群図 2幅 草場佩川 1845/弘化2 個人

花鳥図屏風 6曲1隻 江越總浦 18-19c/江戸 寄託

喜報三元図 1幅 熊斐 18c/江戸 個人

梅に鶴図 1幅 方西園 18c/江戸 個人

古木に鶴図 1幅 宋紫石 18c/江戸 個人

浅草年の市・正月図 2幅 歌川豊国 18-19c/江戸

鍋島報効会

秋草に鶴図 1幅 土佐光成 17c/江戸 個人

菊溪双鴨図 1幅 天龍道人 18c/江戸

栗穂に仄々鳥図 1幅 天龍道人 18c/江戸

柳に鳥図 1幅 鶴亭 18c/江戸 個人

壺鳩図 1幅 狩野則信 19c/江戸 寄託

四季花鳥図 1幅 成富椿屋 1899/明治 32

色絵花鳥地文捻輪花皿 有田/1650年代 九州陶磁文化館

色絵鳥唐草文輪花皿 有田/1650-60年代 九州陶磁文化館

色絵孔雀花文大皿 有田/1650-60年代 九州陶磁文化館
 色絵岩鳥唐草文隅入角皿 有田/1650-60年代 九州陶磁文化館
 染付鷺文変形皿 有田/1650-70年代 九州陶磁文化館
 染付波鷺文変形皿(5枚) 有田/1650-70年代 九州陶磁文化館
 色絵花鳥文皿(5枚) 有田/1660-70年代 九州陶磁文化館
 染付鷺草花文変形皿 有田/1660-70年代 九州陶磁文化館
 染付棕欄鳥文大皿 有田/1660-80年代 九州陶磁文化館
 染付菊鳥文輪花皿 有田/1660-80年代 九州陶磁文化館
 染付梅鳥文変形皿(5枚) 有田/1670-80年代 九州陶磁文化館
 色絵梅鷺文変形皿 有田/1670-90年代 九州陶磁文化館
 染付松鶴文輪花大皿 有田/1690-1710年代 九州陶磁文化館
 染付鶴菖蒲文輪花大皿 有田/1690-1710年代 九州陶磁文化館
 染付芙蓉手鳳凰牡丹文大皿 有田/1700-40年代 九州陶磁文化館
 色絵桜花鷺文大皿 有田/1700-40年代 九州陶磁文化館
 染付岩雄牡丹文壺 有田/1640-50年代 九州陶磁文化館
 色絵雲割鶴松竹梅文皿 有田/1655-60年代 九州陶磁文化館
 染付網子鷺文捻輪花皿 有田/1655-70年代 九州陶磁文化館
 染付双方鳳凰花文皿 有田/1660-80年代 九州陶磁文化館
 色絵岩梅鷺文皿 有田/1680-1700年代 九州陶磁文化館
 染付岩椿及鳥唐草文花瓶 有田/1670-80年代 九州陶磁文化館
 染付岩牡丹鳳凰八角蓋付大壺 有田・1670~90年代
 九州陶磁文化館
 染付岩牡丹鳳凰菊文八角大壺 有田/1670-1710年代
 九州陶磁文化館
 色絵雲割桜鳳凰唐草文大壺 有田/1700-50年代九州陶磁文化館
 色絵雲割陽刻牡丹鷺文大壺 有田・1720~50年代
 九州陶磁文化館
 染付鳥松竹梅唐草文瓶 有田/1680-1710年代
 色絵双鶏龍唐草文隅入角皿 有田/1690-1740年代
 染付岩鳳凰牡丹柘榴文手付酒注 有田/1680-1700年代 寄託
 色絵梅鶉文輪花皿 有田/1670-90年代
 色絵梅鶉文碗(向付) トイツ・マイセン窯 1730-70年代
 色絵梅鶉文桃形鉢 イギリス・ホウ照 1744-76年
 色絵岩花鳥文輪花皿 イギリス・チェルシー窯 1743-84年
 黄緑地花鳥香業紋小袖 江戸時代後期
 和更紗屏風(花鳥文) 2曲1隻 江戸時代 鍋島報効会
 高蒔絵祝箱(花鳥文) 江戸後期 鹿島鍋島家旧蔵
 潤塗提重(花鳥宝尽文) 江戸時代 寄託
 牙彫置物(幼子と鶏) 明治時代 鍋島報効会

では中央に名前の知られる存在で、雪山は武雄邑の絵師から1654年佐賀本藩絵師として召し抱えられ、心海は雪山の後武雄邑の絵師となって活躍した。

山水図 1幅 広渡雪山 17c/江戸 個人
 山水図 1幅 広渡雪山 17c/江戸
 山水図 1幅 広渡雪山 17c/江戸 鍋島報効会
 山水図 1幅 広渡雪山 17c/江戸 個人
 楊柳観音図(賛・大燈) 1幅 広渡雪山 17c/江戸 個人
 竹に雀図 1幅 広渡雪山 17c/江戸 個人
 西湖図屏風 6曲1隻 広渡雪山 17c/江戸 鍋島報効会
 金山寺図屏風 6曲1隻 広渡雪山 17c/江戸
 書画貼交草花図屏風 6曲1隻 広渡心海 17c/ 江戸寄託
 山水図屏風 6曲1双 広渡心海 17c/江戸 個人
 騎龍観音図 1幅 広渡心海 1662/寛文1 個人
 大黒天図 1幅 広渡心海 1665/寛文5 個人
 山水楼閣図 1幅 広渡心海 17c/江戸 武雄市教育委員会
 龍図 1幅 広渡心海 17c/江戸 武雄市教育委員会
 高士清居図 1幅 広渡心海 17c/江戸 武雄市教育委員会
 山水滝図 1幅 広渡心海 17c/江戸 武雄市教育委員会
 農耕図 1幅 広渡心海 17c/江戸 武雄市教育委員会
 布袋図 1幅 広渡心海 17c/江戸 武雄市教育委員会
 芦雁図屏風 6曲1隻 広渡良寛 19c/江戸一明治 個人
 松に鶴図(賛・如心) 1幅 広渡良寛 1884/明治17 個人
 関羽像 1幅 広渡良寛 19c/江戸一明治
 龍図襖 4面 広渡良寛 19c/江戸一明治 武雄市教育委員会
 鳳凰図 1幅 広渡良寛 19c/江戸一明治
 花鳥図 6枚 広渡三舟 19c/江戸一明治
 屏風下絵 1巻 広渡雪山 17c/江戸 個人
 広渡雪山書状 1通 17c/江戸 鍋島報効会
 広渡家系図 1巻 20c/明治 個人
 <その他>
 春草蒔絵煙草盆 1813/文化10 箱書 鹿島鍋島家旧蔵
 八宝蒔絵将棋盤・駒箱 江戸後期 鹿島鍋島家旧蔵

※所蔵を記さないものは、すべて館蔵。

☆民俗

郷土の民俗では、歴史を民俗学的視野からとらえ、海・平野部から山間部にいたる諸々の習俗を概観できるように試みた。

とくに、国の重要有形民俗文化財に指定されている有明海漁撈具は内容・量ともに充実しており、幕末から明治初頭にかけての作と思われる「有明海漁業実況図」(松田房晃・全23図)と共に有明海の漁撈習俗を

「江戸前期の兄弟画家 雪山と心海」(3/20~5/9)

武雄の絵師広渡雪山(?-1674)と広渡心海(1596-1685)は、家督相続上兄弟となったが、実際は叔父と甥の関係になる。共に、江戸時代の肥前の絵師のなか

十分に知ることができる。また、有明海文化の一翼を担った北前型弁才船（奉納船・諸富町大堂神社）を新たに常設展示に加え、江戸期を中心に一大海運勢力を誇った当時の姿を船体の構造図、航路図（パネル）と共に紹介した。農業関係の資料としては、明治・大正年間の佐賀のクリーク（堀）農業を特徴づける各種農具があり、佐賀農業の発展を願う農民の強い意思がうかがわれ、様々な工夫がなされていることも知ることができる。

その他、鳥栖市田代を中心とした製菓・売菓関係資料、東松浦郡相知町横枕の大甕製作用具、小川島での捕鯨を中心とした玄海の漁撈具等が佐賀の民俗を特徴づけている。

① 佐賀のすまい

- 民家模型（クド造り・ジョウゴ造り）
- 収納家具 ○あかり

② 佐賀農業のあゆみ

- 耕作用具 ○泥土揚げ用具 ○管理用具
- 収穫用具 ○脱穀調整用具 ○薬加工用具

③ 有明海の文化

- 干潟漁業用具 ○貝養殖と採捕用具
- 船上で使う生活用具 ○北前型弁才船（奉納船）

④ 玄海の捕鯨

- 明治以降の捕鯨用具
- 肥前国産物図考（捕鯨の図・写真パネル）
- 勢子船・双海船模型

⑤ 相知町横枕の大甕づくり

- 大甕製作用具一式
- 韓国の製陶用具一式

⑥ 肥前配置売菓

- 配置売菓関係資料

⑦ 手すき和紙

- 手すき和紙製作用具

テーマ展示「くらしの造形1、包み」

（3号、7/31～9/13）。

また、下記のコーナー展示を行った。

「船の文化」（5/23～7/26）

「匠の技」（7/31～11/3）

「昔のくらし」（11/28～1/5）

☆その他の展示

- ・平成3年度新収蔵品展〔3号〕（5/23～6/28）
- ・（開館予告）名護屋城資料館（仮称）収集資料展〔3号〕（7/3～7/26）

2. 企画展

弥生のロマン—倭人の原像を求めて—

主催 佐賀県立博物館

会期 平成5年2月10日(水)～3月14日(日)

会場 佐賀県立博物館2号・3号展示室

観覧料 大人 510円(410円)

大学生 250円(150円)

()内は20名以上の団体料金

図録 B5版アート紙161ページ

記念講演会 美術館1号A展示室にて2回開催

1. 日時 2月13日(土)午後2時より

講師 九州大学文学部教授 西谷 正先生

演題 紀元前4・5世紀の東アジア

2. 日時 3月6日(土)午後2時より

講師 福岡大学人文学部教授 小田富士雄先生

演題 青銅器が語る弥生の国々

入館者数 8,181名

その他 展示内容に沿った15分のビデオソフトを製作し、期間中会場で放映した。

展示概要

水稲耕作を主体とする農耕社会の出現は狩猟と採集生活に標示される縄文時代の終焉を意味した。

この新たな農耕社会—すなわち弥生時代には青銅器や鉄器が使用され、技術革新の波は社会のしくみにも変動をもたらし、縄文時代にはなかった人々の間の階級差を生み出した。そしてそれは古代国家の形成へ向けてひた走る激動の時代でもあった。

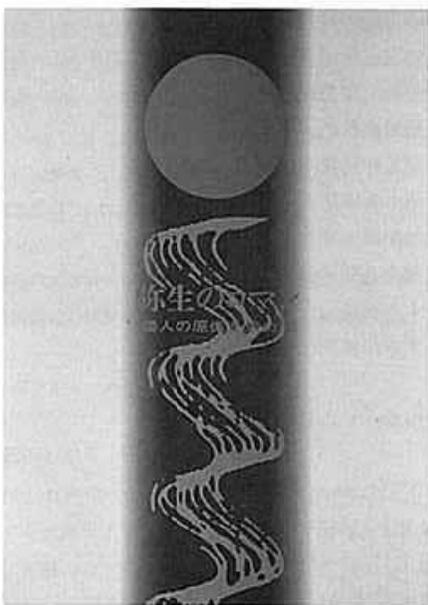
本展覧会ではそのような弥生文化の原郷を東アジア社会の中に求め、その形成の過程と社会の実像を最新の考古資料を織り混ぜながら、全国的視野から展示・紹介した。

展示構成

1. 弥生の自然
2. 弥生の胎動
3. 四季のくらし
4. 弥生王墓の系譜
5. 祈りの世界
6. 器の美
7. 弥生の森



ポスター



図録

3. 資料調査

平成4年4月3日	企画展「弥生のロマン」にともなう調査（武雄市）	学芸員	蒲原宏行
4年7月	民俗資料調査（田川市）	学芸員	山崎和文
4月13日	企画展「弥生のロマン」にともなう調査（長崎市・大村市）	学芸課長	木下巧ほか
4月14日	企画展「弥生のロマン」にともなう調査（長崎市・大村市）	学芸課長	木下巧ほか
4月21日～23日	企画展「弥生のロマン」にともなう調査（杵岐・対馬）	学芸課長	木下巧ほか
5月11日	歴史資料調査（宇和島市）	副館長	小宮睦之
5月12日～14日	企画展「弥生のロマン」にともなう調査（山口県・島根県）	学芸課長	木下巧ほか
6月10日	歴史資料調査（川副町）	副館長	小宮睦之ほか
6月11日～14日	企画展「弥生のロマン」にともなう調査 （千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・愛知県・滋賀県）	学芸員	蒲原宏行
6月23日	歴史資料調査（北九州市）	学芸員	川副義敦ほか
7月3日	県内社寺調査（1次）（北波多村）	学芸員	竹下正博ほか
7月7日	県内社寺調査（1次）（唐津市）	学芸員	竹下正博ほか
7月8日	県内社寺調査（1次）（伊万里市）	学芸員	竹下正博ほか
7月8日	民俗資料調査（川副町）	学芸員	山崎和文ほか
7月9日	県内社寺調査（1次）（山内町）	学芸員	竹下正博ほか
7月9日	民俗資料調査（有田町）	学芸員	山崎和文
7月13日	県内社寺調査（1次）（七山村）	学芸員	竹下正博ほか
7月15日	県内社寺調査（1次）（肥前町）	学芸員	竹下正博ほか
7月21日	県内社寺調査（1次）（浜玉町）	学芸員	竹下正博ほか
7月22日	県内社寺調査（1次）（玄海町）	学芸員	竹下正博ほか
7月23日	県内社寺調査（1次）（鎮西町）	学芸員	竹下正博ほか
8月4日	県内社寺調査（1次）（有田町）	学芸員	竹下正博ほか
8月5日	県内社寺調査（1次）（西有田町）	学芸員	竹下正博ほか
8月18日～20日	県内社寺調査（2次）（小城町・鹿島市・山内町）	学芸員	竹下正博ほか
8月26日	民俗資料調査（北方町）	学芸員	山崎和文
8月27日	民俗資料調査（太宰府市）	学芸員	山崎和文
8月26日～28日	県内社寺調査（2次）（唐津市・七山村・北波多村）	学芸員	竹下正博ほか
9月3日～5日	県内社寺調査（2次） （浜玉町・七山村・玄海町・伊万里市・相知町）	学芸員	竹下正博ほか
10月2日	民俗資料調査（伊万里市）	学芸員	山崎和文
10月14日～15日	県内社寺調査（2次）（唐津市・七山村・鎮西町）	学芸員	竹下正博ほか
10月20日	企画展「弥生のロマン」にともなう調査（熊本市）	資料係長	宮崎武夫
10月30日	美術資料調査（佐賀市）	学芸員	福井尚寿
11月4日～6日	次年度企画展「音の結ぶ世界」にともなう調査（東京都・千葉県）	学芸員	山崎和文
平成5年1月21日	美術資料調査（鹿島市）	学芸員	竹下正博
2月16日	美術資料調査（武雄市・塩田町）	学芸員	福井尚寿
3月4日	美術資料調査（伊万里市・武雄市・唐津市）	学芸員	福井尚寿
3月23日～26日	美術資料調査（東京都・岡山県）	学芸員	福井尚寿

4. 観覧状況

常 設 展	有 料				無 料			
	個 人		団 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
佐賀県の歴史と文化①	8,274	454	326	89	590	87	1,805	5,371

企 画 展	有 料				無 料			
	個 人		団 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
弥生のロマン②	4,334	187	266	123	68	0	718	1,123

その他の展覧会	有 料				無 料			
	個 人		団 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
第42回佐賀県児童生徒理科作品展③					1,297	31	30	1,416

合 計 ①+②+③	12,608	641	592	212	1,955	118	2,553	7,910
-----------	--------	-----	-----	-----	-------	-----	-------	-------

無 料			合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
障害者	招待者	優待者						
192	349	123	17,660	227	78	4 / 1 ~ 3 / 31	1,2,3大展	県立博物館

無 料			合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
障害者	招待者	優待者						
60	1,278	24	8,181	29	282	2 / 10 ~ 3 / 14	2,3号	県立博物館

無 料			合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
障害者	招待者	優待者						
	7		2,781	7	397	9 / 18 ~ 9 / 25	3号	県理科教育振興会

252	1,634	147	28,622	263	109			
-----	-------	-----	--------	-----	-----	--	--	--

5. 普及活動

(1) 資料の刊行

館報

年4回、各号8頁で1000部発行。

全国の主要博物館、美術館ならびに研究機関、県内の教育機関、社会教育団体等に配布。企画展、常設展の案内、資料紹介、研究報告等を掲載。平成4年度各号の内容は下記のとおり。

No.97 平成4年7月1日

◇表紙「黒麻地二十五条袷」

◇資料紹介「萬歳寺(佐賀県鳥栖市)の法衣類について」

◇資料紹介「常設展一具と具化石より」

◇行事のお知らせ

No.98 平成4年11月2日

◇表紙「俵締め具の使用状況(黒髮神社所蔵「四季耕作図絵馬」)」

◇展覧会「佐賀常民展」

◇研究随感「眺むるは誰そーうしろ姿図のこと」

◇調査ノート「鼓型の俵と俵締め具について」

No.99 平成5年2月28日

◇表紙「山水図(広波雪山筆)」

◇研究ノート「佐賀藩絵師広波雪山(上)」

◇資料紹介「鍛金作家石田英一 作品と時代 その1」

No.100 平成5年3月31日

◇表紙「四葉座雲雷連弧文鏡」

◇紙上展覧会「弥生のロマン—倭人の原像を求めて」

年報

平成3年度佐賀県立博物館・美術館年報No.22を刊行し、平成3年度の管理概要、事業概要、資料概要、茶室の管理と運営の概要等を掲載し、各方面に配布。印刷部数800部、B5版、アート紙、60頁。

調査研究書

平成4年度佐賀県立博物館・美術館調査研究書第18集を刊行、各方面に配布した。

内容は下記のとおり。

木下 巧 晴田小学校裏遺跡

宮原香苗 鍋島織通資料編

福井尚寿 千栗八幡宮縁起絵について

印刷部数800部、B5版、アート紙、80頁。

図録

企画展「弥生のロマン展」にとまない刊行したもので、カラー図版16頁、モノクロ図版と解説131頁、ほか出品目録等総計162頁で構成。

印刷部数1500部、B5版、アート紙。

(2) 研究講座

1. 土曜教室

テーマ	担当	月日	人員
日本の伝統木版画	木版画家 牧野宗則	4/11	30
鍋島勝茂と関将監	小宮陸之	5/30	25
龍造寺隆信の顔	福井尚寿	6/27	17
名護屋城とその時代	名護屋城跡調査研究室 本多美穂	7/4	51
400年の時空を超えて	名護屋城跡調査研究室 五島昌也	7/18	60
土器の復元に挑戦しよう	木下 巧	8/1	17
佐賀県のトンボ類	宮崎武夫	8/22	10
くらしの造形—包み—	山崎和文	9/57	7
佐賀市周辺の環境と植物	佐賀大学教授 宮脇博巳	9/26	20
招かれた仏—中国・朝鮮の仏教美術—	竹下正博	10/17	8
佐賀の工芸再発見! 鍋島織通	宮原香苗	10/24	35
拓本をとろう	蒲原宏行	11/21	23
1900年前後の風景画	松本誠一	2/20	8

2. 記念講演会

平成4年度企画展「弥生のロマン展」開催を記念して下記の内容で実施した。

年月日 平成5年2月13日(土) 午後2時~4時

演題 紀元前4・5世紀の東アジア

講師 九州大学教授 西谷 正 氏

会場 美術館1号A展示室

参加 140人

日時 平成5年3月6日(土) 午後2時~4時

演題 青銅器が語る弥生の国々

講師 福岡大学教授 小田富士夫氏

会場 美術館1号A展示室

参加 120人

(3) 博物館学実習

学芸員養成講座を持つ大学からの要請により、7月20日(月)から7月29日(水)までの9日間実施した。なお、参加者は20名で、昨年に引き続き佐賀大学からの受講者が多く18名であった。

(4) 館外普及活動

- 4月3日 「平成3年度新収藏品展」普及
 4月30日～5月1日 年間行事予定表の配布
 9月11日 「佐野常民展」普及
 7月16日 「くらしの造形1、包み」普及
 6月30日 「名護屋城跡資料館(仮称)開館予告収集資料展」普及
 9月16日 平成4年度統計グラフ佐賀県コンクール審査会出席
 1月14・25・29日 「弥生のロマン展」普及

7月	実習科目〈担当〉	
	午前 9:00～12:00	午後 13:00～16:00
20日(月)	・開講式 施設見学・管理運営 (菊池)	博物館・美術館の学芸活動(小宮・木下・宮崎・松本)
21日(火)	近代美術(松本)	保存科学(木下)
22日(水)	自然科学(宮崎)	
23日(木)	歴史(川副)	文書取扱(小宮)
24日(金)	近世美術(福井)	考古(蒲原)
25日(土)	個人またはグループによる館外実習	
27日(月)	展示撤収	展示作業
28日(火)	民俗(山崎)	工芸(宮原)
29日(水)	中世美術(竹下)	閉講式



館報No.97



館報No.98



館報No.99



館報No.100

資料の概要

1. 購入資料

(1)自然史資料

資料名	数量	備考
蝶類標本—照葉樹林の蝶(外国産)—	111点	展翅標本

(2)考古資料

資料名	数量	備考
樫の木出土銅戈銜型	1個	複製品

(3)歴史資料

資料名	数量	備考
佐賀藩精練方絵図	1面	複製品
南沢一本杉合戦図	1面	紙本着色 額装
鍋島閑叟書状	1通	紙本 額装
毛利輝元書状(龍造寺政家宛)	1通	紙本 軸装
鍋島綱茂書「徳不孤」	1幅	紙本 額装
鍋島綱茂書「己卯九月 十日遊老臣原田舎切述情一」	1幅	紙本 軸装
肥前録	46点	忠吉・忠長・釘本弥左エ門ほか 縁頭1組を含む

(4)美術・工芸資料

資料名	数量	備考
周幽斎夏籠筆 雪松美人文書き図	1幅	紙本着色 軸装
江戸切子台鉢	1点	透明ガラス 切子細工 真鍮製覆輪・脚付

2. 寄贈資料

(1)自然史資料

資料名	数量	寄贈者
ヘマタイト(赤鉄鉱)結晶塊	1点	鹿島市高津原296-6

(2)歴史資料

資料名	数量	寄贈者
佐嘉城の欄間彫刻	1点	佐賀市城内2丁目3-4 副島金司
袋戸(佐嘉城関係)	4点	〃
柴田花守筆 和歌二首「立春」「待郭公」	1幅	久留米市国分町707 森田和芳
今泉蟹守筆 和歌短冊「春寺」	1枚	〃
富岡敬明筆 二行書	1幅	〃
富岡敬明筆 五言絶句「廻新筑古石図」	1枚	〃
谷口盛田筆 七言絶句「鍋島五首之一」	1枚	〃
谷口盛田筆 書簡 藤原吟社諸君宛	1枚	〃
谷口鹿洞筆 五言絶句「春晩即事」	1枚	〃
谷口鹿洞筆 漢詩二首	1枚	〃
五言絶句	1枚	〃
道中獨案内図	1部	佐賀市本庄町本庄218-12 西 太郎
大日本道中獨案内図	1部	〃
長崎港出島之図	1部	〃
鉄錆地紺糸織二枚調具足	1領	北九州市小倉北区熊谷1-16-1 川崎純治
槍 銘「平安城住兼久」	1口	〃
詩韻含英 坤	1冊	〃
柳宗縁起	1冊	〃
日記地取 川副郁太筆	1冊	〃
地理初歩	1冊	〃
菅齋日誌 川副真淳	2冊	〃
禮記 三	1冊	〃
朝陽山人詩抄	1冊	〃
詩文草稿 列記	1冊	〃
名家手簡七集	1冊	〃

海防博覧	1冊	北九州市小倉北区熊谷1-16-1	川崎純治
大學問答 卷之一	1冊	"	"
壮悔堂文集 十	1冊	"	"
香簡類	1式	"	"
刀柄	1点	佐倉市宮前2-6-3	石田尚豊
海軍刀仕立 洋柄	1点	"	"
松枝藁文透鏡	1枚	"	"

(3)美術・工芸

資 料 名	数 量	寄 贈 者	
草場佩川筆 桃に水鳥図	1幅	久留米市国分町707	森田和芳
古川松根筆 和歌短冊「軍管月」	1枚	"	"
広瀬淡窓筆 三行書「旗亭云々」	1幅	佐賀市八幡小路4-24	宮原律子
広瀬淡窓筆 三行書「百沢云々」	1幅	"	"
藤製椗管入れ	1点	佐倉市宮前2-6-3	石田尚豊
佐賀硝子 透明ガラス蓋付瓶(大)	3点	佐賀市赤松町252	嘉村三男
佐賀硝子 透明ガラス蓋付瓶(小)	3点	"	"
佐賀硝子 透明ガラス吸呑み	3点	佐賀市多布施3-4-3	青木隆彦

(4)民俗資料

資 料 名	数 量	寄 贈 者	
高下駄	2足	佐賀市内3丁目3-4	副島金司
高枕	1基	"	"
衣裳草笥	1竿	佐賀市蓮池町字蓮池188	熊谷誠哉
糞桁	1点	佐賀市兵庫町藤の木956-9	原田秀雄
漕ぎ糞	1点	"	"
民俗芸能衣裳(上衣)	1点	北九州市八幡東区荒生田3-3-14	堀切辰一

3. 寄託資料

(1)考古資料

資 料 名	数 量	寄 託 者	備 考
石塚1号古墳出土桂甲他甲冑類	1式	諸富町教育委員会	

(2)歴史資料

資 料 名	数 量	寄 託 者	備 考
上林家古文書屏風	1双	佐賀郡 個人	
佐野常民書	2幅	"	
短刀銘廣貞	1口	"	
脇差銘 文化十年八月吉日 垣元大和介正久	1口	"	
花鳥図縁頭	1組	"	
「恕」字透鏡	1枚	"	
山水図鐔	2枚	"	
風竹図鐔	1枚	"	
日本赤十字社資料	45件	日本赤十字社、佐賀県支部	
龍造寺系図	1巻	佐賀郡 個人	
龍造寺正統系図	"	"	
"	"	"	
婦人図	"	"	

(3)美術・工芸資料

資 料 名	数 量	寄 託 者	備 考
山水図 矢野雪泉筆	1幅	佐賀市 個人	
二行書 古賀精里筆	"	"	
一行書 男谷燕齋筆	"	"	
山水図並三行書 頼山陽筆	2幅	"	
一行書「松高白鶴映」古賀侗菴筆	1幅	"	
和歌色紙並墨田川図色紙 太田垣進月、加藤千浪筆	"	"	
三行書(七言絶句) 鍋島直興筆	"	"	
正月飾り図 古川松根筆	"	"	
一行書 鍋島直正筆	"	"	
和歌懐紙並鍋島直正像 伝・鍋島直正、古川松根筆	"	"	
二字「和鶴」中林梧竹筆	1枚	"	

三行書 副島種臣筆	1幅	佐賀市 個人	
二行書 副島種臣筆	"	"	
二行書 大木喬任筆	"	"	
三行書 乃木希典筆	"	"	
二行書 大木遠吉筆	"	"	

(4)民俗資料

資料名	数量	寄託者	備考
四季耕作図絵馬	1面	黒髪神社	

4. 資料の貸出状況

資料名	貸出先・目的	貸出・返却
二塚山遺跡出土 清白鏡 1面 渦文鏡 1面 偽銘帯鏡 1面	文化庁 古代の日本展	H4.5.19~12.16
桜馬場遺跡出土 方格規矩四神鏡 1面 吉野ヶ里遺跡出土 巴形銅器鎚型 1個	東京国立博物館 福岡県立美術館 伽耶文化展	H4.6.10~11.7
桜馬場遺跡出土 素文緑方格規矩渦文鏡 1面 有鈎銅劍 25点 巴形銅器 2点	唐津市教委 複製品作成	H4.7.1~9.16
肥前名護屋城図屏風レプリカ 1隻 晋州王癸事蹟忠烈録 1冊 朝鮮国禮曹刷選論告文 2幅ほか18点	大阪人権歴史資料館 倭乱展	H4.7.2~9.8
肥前古鐘銘屏風 1隻	迦摩院誕生寺 梵鐘入魂供養展示のため	H4.7.11~7.13
肥前国産物図考 第4帖 1点	高知県立歴史民俗資料館 鯉の郷土佐くじらめぐる文化史展	H4.9.4~12.11
長崎海軍伝習所絵図(レプリカ) 1点	鹿児島県立歴史資料センター黎明館 五代友厚・寺島宗則・森有礼展	H4.9.5~10.17
森林の働き模型 1点 森林の生態模型 1点 有明海の干潟と生物 1点	諸富町 '92筑後川フェスティバルテーマ館展示	H4.8.6~8.7
横田遺跡出土鉄剣 1口 素環頸鉄刀 1口	県文化課 複製品作成	H4.8.28~12.10
土生遺跡出土 無文土器 1点 礫石遺跡出土 草畑式土器 1点 大久保三本松遺跡出土土器 1点	島根県立八雲立つ風土記の丘 古代の出雲と朝鮮半島展	H4.9.17~11.20
目達原桜馬場遺跡出土 中広形銅矛 2点	大村市教委 大村の時代展	H4.9.25~10.27
桜馬場遺跡出土 方格規矩鏡 2点 巴形銅器 3点 有鈎銅劍 26点 内行花文鏡片 1点	唐津市教委 弥生の秘宝 里帰り展II	H4.9.29~12.11
石塚一号墳出土桂甲 1点	九州歴史資料館 古墳時代の武器・武具と馬の装い	H4.9.30~12.4
ヨコヤマオウムガイ化石 1点	神奈川県教育庁 複製品製作	H4.10.2~11.18
龍造寺隆信画像 1点 鎧地番剣二枚銅具足 1点 龍造寺隆信巻状 1点 肥前名護屋城図屏風および同レプリカ 2点	大分市教委 覇権をめざした英雄たち 大友宗麟とその時代	H4.10.17~12.9
松田正久書 1点 富岡敬明書 1点 蘭座貼長持 1点	小城町教委 小城町の歴史展	H4.10.29~11.10
目達原出土中広形銅矛 4口	福岡県花道協同組合 平成5年新作花ごぎ展	H5.1.11~1.14
大友遺跡出土イモイ製貝輪 2点	神戸市立博物館 弥生時代の青銅器展	H5.1.11~3.19
松山市生涯学習振興財団 弥生時代の海上交易展	H5.2.17~3.26	
絵唐津柳文向付ほか 50件58点	唐津市近代図書館 佐賀の陶磁器展	H5.2.24~3.29
鍋島更紗見本帖 1点 秘伝書 1点 掛軸 1点 襷裂帳 1点	根津美術館 古渡更紗と和更紗	H5.3.15~4.26
多久茂族碑拓本 3幅	多久市郷土資料館 お家自慢の書画展	H5.3.15~
正保四年長崎警備図 1幅	NHKプロモーション ポルトガルと南蛮文化展	H5.3.16~
宇木汲田遺跡出土勾玉 10個 桜馬場遺跡出土 方格規矩鏡 2面 巴形銅器 3個 有鈎銅劍 26個	京都国立博物館 名古屋博物館 茨城県立歴史館 倭国 邪馬台国と大和朝廷 福岡市博物館	H5.3.16~

5. 購入・寄贈図書

(1)購入図書

購 入 図 書	発 行 所
絵がすり	えびな書店
仏具大事典	大書堂
横穴式古墳の研究	慶文堂
日本近代思想体系	岩波書店
Collection of musical instruments	国立音楽大学楽器学資料館
日本障屏画名品選	岩波書店
東京美術学校校友会誌叢書	(株)紀伊國屋書店
美術園	ゆまに書房
日本美術全集3.5.12.17	講談社

(2)寄贈図書

寄贈していただいた点数が莫大なため、一々ここに記すことはできませんが、公私各種の機関あるいは個人の方より多くの寄贈を受けました。記して感謝いたします。

茶室「清恵庵」の管理と運営の概況

1 茶室規模および施設

茶室「清恵庵」は昭和48年10月郷土出身の実業家故市村清氏のご遺志により、同夫人幸恵氏より本県に寄贈されたもので、今年で20年目を迎える。利用の傾向としては普及が広く一般に浸透し、県内、県外の茶道各流派のグループによる利用や、各種団体による茶会など幅広く利用された。

設計者 堀口捨己 東京都大田区山王4-6-5

早川正夫 東京都港区青山5-9-12

アイザワビル

構造 木造平家建 寄棟造り

規模 床面積 57.35㎡

2 茶室の利用状況

茶室「清恵庵」の利用については、20年目に入り県内はもとより県外にも広く周知され、好評を得ている。

今年度は、各流の茶道グループ、婦人学級、青年団、学校などの団体あるいは、茶道愛好会など利用の幅もさらに広まり、社会教育、学校教育の一環として広く利用された。

月別にみた利用状況は次のとおりである。

平成4年度			
月	利用団体数	利用者数	見学者数
4	3	25	3
5	1	7	2
6	1	10	50
7	1	40	
8	1	12	26
9			
10	1	10	106
11	1	20	4
12	3	34	
1	5	89	
2			
3	1	7	5
計	18	254	196

3 茶道具備品

平成3年度末の概況は次のとおり191点である。

掛物 淡々齋宗室、希齋宗有、大徳寺桃林の書、村瀬玄妙の書、亮茶翁の二行書、千宗佐、千代尼

花入 胡銅、朝鮮唐津「中里重利作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原隆作」、備前焼、竹花入「生野祥雲齋作」、竹一重切花入「宗隆作」、有馬千鳥籠花入、有馬ひさご籠花入「昭竹齋作」、青磁鶴首花入「小笠原隆作」

香合・香炉 「12代今泉今右衛門作」、「井上萬二作」、黒牟田焼「丸田正美作」、「宗祥作」、菊花書詰蒔卵香合「助市作」、「13代今泉今右衛門作」、「源右衛門作」

茶碗 唐津奥高麗「中里無庵作」、繪唐津・唐津刷毛目「13代中里太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼背磁「小笠原隆作」、青磁「中島宏作」、唐津井戸・唐津皮鯨茶碗「中里重利作」、白磁茶碗「初代忠右衛門作」、黒染茶碗「小川良染作」、志野茶碗「荒川豊蔵作」、支那焼、高麗斗々屋「千漢風作」

水指 信楽焼「高橋染齋作」、朝鮮唐津「中里重利作」、小山路焼「江口勝美作」、染付「12代今泉今右衛門作」、高麗「千漢風作」

薄茶器 沈金葉「安村稔作」

濃茶器 「13代酒井田柿右衛門作」

茶杓 「宗泰作」

風炉 利休面取風炉、切合唐銅風炉、合金面取風炉、鬼面共耳風炉

釜 切合釜・竹紋繰口釜「松寿作」、筋入炉釜、菊桐地紋炉釜、雲龍釜「高橋敬典作」、尻張釜「高橋敬典作」、鬼面共耳風炉釜「横倉嘉山作」

棚 竹台子、桐丸卓、桑小卓、真塗長板

火入 染付「12代今泉今右衛門作」

菓子器 唐津焼「13代太郎衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、青磁「中島宏作」、現川焼

建水 不審庵伝来写「11代中川浄益作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、唐銅

風炉先屏風 秋草蒔絵

炉縁 高台寺蒔絵「柴田利雄作」

曲湯桶 置炉、瓶掛、蒔繪塗四方盆、茶托と蓋、茶碾、茶壺

平成4年度

佐賀県立美術館

美術館の沿革

昭和55年 3月	県政百周年記念事業の一環として、昭和58年開館を目指し、佐賀県立美術館の建設を決定。
昭和55年 4月25日	佐賀県立美術館建設委員会設置。
12月10日	安井建築設計事務所による基本設計採用。
昭和56年 3月31日	安井建築設計事務所による実施設計採用。
10月26日	佐賀県立美術館建設着工。
昭和58年 1月31日	佐賀県立美術館建設完工。
4月1日	佐賀県立美術館設置条例施行。 佐賀県博物館及び美術館協議会条例施行。 佐賀県立美術館処務規則施行。
10月7日	山口亮一氏遺作64点を山口三千也氏より寄贈受く。
10月8日	佐賀県立美術館落成式、開館記念展「近代・九州の洋画家たち展」開催。
昭和61年 9月1日	石本秀雄氏遺作31点を遺族より寄贈受く。
昭和63年 9月30日	佐賀県立美術館開館5周年記念展「田園風俗画展」開催。
平成3年11月23日	佐賀県立美術館の開館来の懸案である扉を開放する。
平成4年 8月11日	紀宮清子内親王殿下御視察。

以上のほか、多くの方々から貴重な資料を寄贈して頂きました。
ここには点数の特に多いもののみを記載しました。

規模および施設

構造	鉄筋コンクリート造	一階建	一部二階建		
規模	敷地面積			7,986㎡	
	建築面積			3,644㎡	
	延床面積			4,238㎡	
施設	1号展示室	204㎡		倉庫	5㎡
	2号展示室	230㎡		ホール	529㎡
	3号展示室	250㎡		和楽室・洋楽室	39㎡
	4号展示室	366㎡		準備室	18㎡
	収蔵庫	319㎡		映写室	12㎡
	収蔵庫前室	26㎡		機械室	47㎡
	荷解場	120㎡		倉庫	13㎡
	倉庫	79㎡		便所	34㎡
	面廊・準備室	137㎡		ホワイエ	126㎡
	研修室	135㎡		休憩室	56㎡
	事務室	148㎡		便所	93㎡
	写真室・暗室	58㎡		廊下・階段等	1,114㎡
	機械室	80㎡			

歳出予算

科 目	予算額 (単位千円)	科 目	予算額 (単位千円)
(美術館費)		4. 企画展費	20,165
1. 管理運営費	56,708	企画展開催費	16,869
管理費	56,578	企画展紹介費	3,296
会議及び研修費	130	5. 常設展費	1,679
2. 資料整備費	39,271	6. 普及活動費	3,940
資料購入費	33,000	7. 施設整備費	24,085
資料整理費	6,045	8. 彫刻の森(仮称)整備事業費	6,541
資料収集費	226		
3. 調査研究費	150		
研究費	82		
調査費	68		
		計	152,539

事業の実施状況

1. 常設展

第1期 平成3年度 新 収 蔵 品 展

- 近・現代美術と工芸 -

会 期 4月10日(金)～4月19日(日)

5月23日(土)～5月31日(日)

会 場 美術館2・3号展示室

主 旨

前年度(平成3年度)収蔵の作品には、岸田劉生の草土社結成にかかわった中島正貴や藤津郡に生まれてソビエト、西欧、南北アメリカを歴遊したという松尾松濤の洋画作品や、金工家松尾忠次、染色家小川泰彦の作品、世界的に珍しい木綿織りの敷物鍋島織通とその関連資料を紹介した。No.8、No.9は平成2年度の収蔵品だが、このほど絵画研究所において画面状態の検査が終了したものの、松尾忠次作品(No.23・24・25)は平成3年度収蔵品ではないが、No.26・27が「退官記念 小川泰彦染色展」出品により後期のみ展示されるため、参考として展示している。(全36件41点)

〈出品目録〉

作家名	題名	年代
〈日本画〉		
1 庄野伊甫	山 水 図	昭和10～20年代
〈洋 画〉		
2 中沢弘光	海	昭和20～30年代
3 高木背水	静物(りんご)	昭和10年代
4 "	練馬風景	昭和10年代
5 "	練馬風景(編隊飛行)	昭和10年代
6 中島正貴	静 物	1926(大正15)
7 松尾松濤	能面のある静物	明治末年～昭和初め
8 北島浅一	裸 婦	大正8～10年
9 "	横たわる裸婦	1927(昭和2)
10 御厨純一	巴里郊外の春	1928(昭和3)
11 吉田進一	嘉永の武具	1987(昭和62)
12 "	嘉永の武具	1990(平成2)
13 池田龍雄	ストリッキング	1990(平成2)

14 池田龍雄	火の法則	1991(平成3)
15 吉武研司	肖像-虫の出る日-	1985(昭和60)

〈県展優秀作品〉

16 山口春美	若山牧水のうた	1991(平成3)
17 光瀬雅一	交差する生活	1991(平成3)
18 杉原世紀	過ぎ行く日々II	1991(平成3)
19 木村安宏	神々の森	1991(平成3)
20 松本幸弘	早 春	1991(平成3)
21 古川誠次	黄金の収穫	1991(平成3)

〈工 芸〉

22 松尾忠次	金工 断 層	1989(昭和64)
23 "	金工 銀 鱗	1987(昭和62)
24 "	鉄地銀象嵌壺	1984(昭和59)
25 "	布目象嵌壺	1976(昭和51)
26 小川泰彦	染色屏風 明け染めし	1988(昭和63)
27 "	染色屏風 帰る日近く	1986(昭和61)

〈工芸：鍋島織通ほか〉

資料名	年代
28 鍋島織通 唐草芍薬文	昭和前期
29 赤穂織通 十字唐草に縁二重雷文	明治中～後期
30 赤穂織通 蝶瑞雲に縁雷文崩し文	大正～昭和初期
31 赤穂織通 福寿字に花水仙文	昭和前期
32 赤穂織通 蟹牡丹文(2)	昭和前期
33 赤穂織通 富貴組唐草文	製作 赤穂市西田工房阪口きり江 c.1989 デザイン 京都市(株)川島織物 1967(昭和42)
34 堺織通 蝙蝠に龍文(2)	昭和前期
35 堺織通 蟹牡丹文(3)	昭和前期
36 堺織通 市松に菊十字文(2)	昭和前期

第II期 所蔵品による

現代美術の断面
—近・現代美術と工芸—

会期 7月31日(金)～9月20日(日)

会場 美術館2・3号展示室

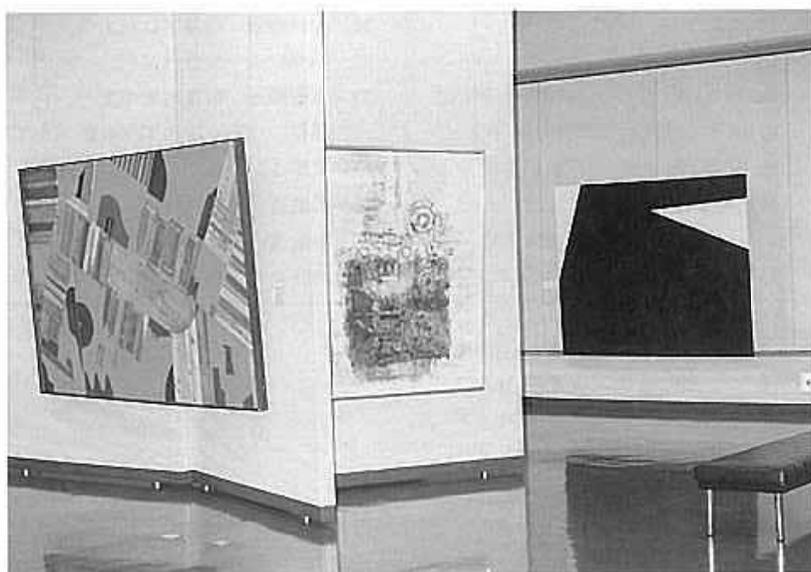
主旨

美術館所蔵品(寄託作品を含む)から、日本画、洋画、染色の各部門のうち、現代美術の多様性を示す作品を展示した。(全30点)

<出品目録>

作家名	題名	年代
<日本画>		
1 藤田隆治	魚 壁	1963(昭和38)
<洋画>		
2 松本弘二	春 雪	1960(昭和35)
3 "	新 雪	1964(昭和39)
4 伊東静尾	草 笛	1953(昭和28)
5 "	作品A(浮立)	1954(昭和29)
6 江口 良	作 品 E	1958(昭和33)
7 "	仮 説	1961(昭和36)
8 "	扉	1961(昭和36)
9 "	接 吻	1967(昭和42)

10 古沢岩美	母子三代	1952(昭和27)
11 "	仮 説	1954(昭和29)
12 "	地球はぜんそく	1976(昭和51)
13 古川吉重	無 題	1969-70(昭和44-45) 寄託
14 "	L-57	1982-83(昭和57-58) 寄託
15 "	L 5-8	1987(昭和62) 寄託
16 吉田西緝	呪詛の記録	1964(昭和39)
17 "	舟 型	1969(昭和44)
18 "	交差した船型	1978(昭和53)
19 "	赤と木の構成	1991(平成3) 寄託
20 池田龍雄	戦 利 品	1955(昭和30)
21 "	砦	1958(昭和33)
22 "	百 板 面	1962(昭和37)
23 "	ストリッキング	1990(平成2)
24 "	火の法則	1991(平成3)
25 大隈武夫	のびゆく木	1965(昭和40)
26 吉武研司	肖像-恋人たち	1984(昭和59)
27 "	肖像-熱さのせい	1984(昭和59)
28 "	肖像-虫の出る日	1985(昭和60)
<工芸>		
29 城 秀男	染色屏風 現代想	1969(昭和44)
30 小川泰彦	染色屏風 春近し	1964(昭和39)



第III期 近代洋画

—白馬会の画家たちを中心に—

会期 12月4日(金)～1月17日(日)

2月2日(火)～2月21日(日)

会場 美術館2・3号展示室

19	裸婦	大正時代
20	裸婦	1920年代
21	風景	昭和時代
22	風景	昭和時代
23	台湾娘	1933(昭和8)
24	蘇洲河激戦の跡	c. 1938(昭和13)

主旨

日本近代洋画の先駆者百武兼行と1896年(明治29)創設の白馬会創立会員のうち、黒田清輝、久米桂一郎、小代為重、岡田三郎助、藤島武二らの作品を所蔵品(寄託品を含む)により紹介した。(全52点)

〈出品目録〉

題名	年代
百武兼行(1842～1884)	
1 城のある風景	1876(明治9)
2 耕作	c. 1878(明治11)
3 バーナード城 下絵	c. 1878(明治11)
4 老婦人像	c. 1879(明治12)
5 マンドリンを持つ少女	1879(明治12)
6 タンバリンを持つ少女	c. 1881(明治14)
山本芳翠(1850～1906)	
7 帆船	1903(明治36)
小代為重(1861～1951)	
8 少女	1897(明治30)
9 シンガポール	1900(明治33)
10 スエズ運河	1900(明治33)
11 テームズ河畔	1900(明治33)
12 婦人像	昭和初期
黒田清輝(1866～1924)	
13 画室内	1889(明治22)
14 小代為重像	1897(明治30)
久米桂一郎(1866～1934)	
15 画室内	1893(明治26)
16 子供のいる風景	1895(明治28)
17 残燵* 下絵	1898(明治31)
藤島武二(1867～1943)	
18 老人像	1907-1909

岡田三郎助(1869～1939)

25	矢調べ	1893(明治26)
26	少年	1900(明治33)
27	西洋婦人像	1900(明治33)
28	老人像	1901(明治34)
29	若き娘の顔	1913(大正2)
30	藤山雷太像	1914(大正3)
31	花野	1917(大正6)
32	庭	1919(大正8)
33	薔薇	1931(昭和6)
34	棕々園にて	1935(昭和10)
35	伊豆山	1935(昭和10)

中沢弘光(1874～1964)

36	奈良風景	大正時代
37	奈良公園	1920(大正9)
38	海	昭和20～30年代
39	舞伎	c. 1955(昭和30)か
40	婦人像	c. 1957(昭和32)か

高木背水(1877～1943)

41	英国風景	1911(明治44)
42	春雨	1912(明治45)
43	永田町馬場	大正初年頃
44	金剛山	c. 1914(大正3)
45	羅馬公園	c. 1920(大正9)
46	クラマールの森	1932(昭和7)
47	佐嘉城跡の門	1936(昭和11)
48	静物	昭和10年代
49	農家の朝	1941(昭和16)

青木繁(1882～1911)

50	木下秀康大尉像	1909-10
51	佐賀風景	1910(明治43)
52	朝日	1910(明治43)

工芸：(第Ⅰ期は平成3年度新収蔵品展に伴う)

工芸：第Ⅱ期

ヨーロッパのガラス
-河村美術館コレクションより-

会期 6月27日(土)～7月26日(日)

会場 1号B展示室

主旨

青木繁で知られる河村美術館のコレクションから、繊細なグラヴェールで装飾された19世紀のボヘミア・ガラス製ジョッキや宝石箱、1900年パリ万国博覧会で新しい世紀の美意識を創造したアール・ヌーヴォー様式のフランスのガラス工芸、エミール・ガレやドーム工房の佳作を紹介した。(全6点)

<出品目録>

作品名	時代
<ボヘミア・ガラス>	
1 ジョッキ 草花文	c.1850
2 ジョッキ 森に鹿文	c.1890
3 ジョッキ 狐犬文	1880-90
4 宝石箱 森に鹿文	1880-90

<フランス・アール・ヌーヴォー・ガラス>

5 エミール・ガレ作 芥子にバッタ文花瓶	c.1890
6 ルイ・マジョレル/ドーム工房 金彩鉄枠吹きコンポート	1900-10

工芸：第Ⅲ期

-鍋島緞通 いろいろ-

会期 10月8日(金)

～11月3日(火・祝日)

会場 1号B展示室

主旨

「鍋島緞通-もめんの華-」の開催にあわせて、図録未収録の鍋島緞通を展示した。(13件14枚)

<出品目録>

資料名	時代
1 鍋島緞通 蟹牡丹文/緑二重雷文	明治前期-後期
2 鍋島緞通 蟹牡丹文/緑二重雷文	明治前期
3 鍋島緞通 蟹牡丹文/緑二重雷文	明治後期
4 鍋島緞通 蟹牡丹文/緑二重雷文	明治前期
5 鍋島緞通 蟹牡丹唐草文/緑雷文に三筋縞	明治中期-後期
6 鍋島緞通 蟹牡丹唐草文/緑二重雷文	大正時代
7 鍋島緞通 芍薬に唐花文/緑二重雷文	明治後期
8 鍋島緞通 花杏葉文/緑二重雷文	明治後期
9 鍋島緞通 蔓芍薬に花菱文/緑二重雷文	明治前期
10 鍋島緞通 花杏葉文/緑二重雷文	明治後期
11 鍋島緞通 蟹牡丹文/緑二重雷文	明治中期-後期
12 鍋島緞通 亀甲に蝶花文/緑雷文に捻文	大正時代
13 鍋島緞通 亀甲に蝶花文/緑卍繫文	大正時代
14 鍋島緞通 蔓牡丹唐草文/緑卍繫文	大正時代

工芸：第IV期

鍋島緞通 一華 いろいろ

期 間 12月4日(金)～1月24日(日)

会 場 1号B展示室

主 旨

佐賀で生まれた木綿の敷物「鍋島緞通(なべしまだんつう)」は、江戸時代には「花毛氈(はなもうせん)」とよばれて鍋島藩御用の貴重品として、牡丹や芍薬など花のモチーフや、「蟹牡丹文(かにぼたんもん)」という鍋島緞通を代表する格調の高いデザインで知られている。

ここでは、博覧会、共進会出品で活気があった明治時代から大正時代にかけての鍋島緞通を展示した。(全14件15枚)

- | | | | |
|----|------|---------------|---------|
| 6 | 鍋島緞通 | 蟹牡丹唐草文／緑二重雷文 | 明治中期～後期 |
| 7 | 鍋島緞通 | 芍薬に唐花文／緑二重雷文 | 大正時代 |
| 8 | 鍋島緞通 | 花杏葉文／緑二重雷文 | 明治後期 |
| 9 | 鍋島緞通 | 蔓芍薬に花菱文／緑二重雷文 | 明治後期 |
| 10 | 鍋島緞通 | 花杏葉文／緑二重雷文 | 明治前期 |
| 11 | 鍋島緞通 | 蟹牡丹文／緑二重雷文 | 明治後期 |
| 12 | 鍋島緞通 | 亀甲に蝶花文／緑雷文に捻文 | 明治中期～後期 |
| 13 | 鍋島緞通 | 亀甲に蝶花文／緑出繁文 | 大正時代 |
| 14 | 鍋島緞通 | 蔓牡丹唐草文／緑出繁文 | 大正時代 |

〈出品目録〉

- | 資料名 | 時代 |
|-----------------------|---------|
| 1 鍋島緞通 蟹牡丹文／緑二重雷文 | 明治前期～後期 |
| 2 鍋島緞通 蟹牡丹文／緑二重雷文 | 明治前期 |
| 3 鍋島緞通 蟹牡丹文／緑二重雷文 | 明治後期 |
| 4 鍋島緞通 蟹牡丹文／緑二重雷文 | 明治前期 |
| 5 鍋島緞通 蟹牡丹唐草文／緑雷文に三筋縞 | |



—鍋島緞通一華 いろいろ—

2. 特別展示

清子内親王殿下お成り

—肥前の古陶磁と佐賀の近代美術・工芸—

日時 8月11日(火)(当日1日のみ展示)

会場 美術館4号展示室

主旨

茶陶で有名な古唐津陶器、磁器の誕生期に焼かれた初期伊万里様式磁器、そして古伊万里様式、柿右衛門様式、鍋島藩窯様式など様々な有田磁器からなる肥前の古陶磁、江戸末期に始まる佐賀錦、伝統の技を守る今泉今右衛門、酒井田柿右衛門、中里太郎右衛門の3氏と佐賀県無形文化財(井上萬二、小野珀子、中島宏、中村清六)4氏の創造力あふれる近作と鍋島更紗の染色技法を研究し復元する試みから生まれた木版摺更紗(もくはんずりさらき)の染色家故鈴木照次の作品を佐賀の現代工芸として紹介した。(古陶磁33件47点、佐賀錦5点、現代工芸16点)

近代洋画の創始期に活躍した佐賀出身の画家たち、百武兼行(1842~1884)、久米桂一郎(1866~1934)、岡田三郎助(1869~1939)の作品を展示した。(14件14点)

実演

佐賀錦紗綾の会を主催する井手久美子・美弥子両氏により、佐賀錦織りの実演と説明をおこなった。

*「佐美」は佐賀県立美術館蔵、「九陶」は九州陶磁文化館蔵、「報效会」は鍋島報效会寄託作品、その他は個人蔵。

〈出品目録〉

資料名	時代	所蔵
〈古陶磁〉		
1 岸岳飯洞甕窯 叩き褐釉壺	16世紀後半	佐美
2 武雄・小田志山 三島唐津象嵌雲鶴文鉢	17世紀	佐美
3 伊万里・壱屋ノ谷窯 繪唐津萩文壺	16世紀末-17世紀初頭	九陶
4 松浦古唐津系 繪唐津鳥文向付(5)	16世紀末-17世紀初頭	九陶

5 武雄・庭木山窯 三島唐津刷毛目文水指	16-17世紀	九陶
6 初期伊万里様式 染付葡萄蝶文皿	17世紀前半	佐美
7 有田・稗古場窯 染付牡丹蝶文皿	17世紀前半	佐美
8 初期伊万里様式 染付波に兎文皿	17世紀前半	佐美(寄託)
9 山内町・百間窯 染付蝶文皿(5)	1630-40年頃	九陶
10 有田町・山辺田窯 染付唐獅子図大鉢	1624-43年頃	九陶
11 古伊万里様式 染錦御所車風俗図鬚皿	17世紀末-18世紀前半	佐美
12 古伊万里様式 染錦桜花唐子文瓶(2)	18世紀前半	佐美
13 古伊万里様式 色繪婦人像	18世紀	佐美
14 古伊万里様式 染錦紋章文皿	18世紀前半	九陶
15 古伊万里様式 染錦ケンタウロス文皿	18世紀前半	九陶
16 古伊万里様式 染付芙蓉手唐人図皿	18世紀前半	九陶
17 古伊万里(国内) 染付竹虎文大皿	17世紀後半	九陶
18 古伊万里(国内) 染付松下仙人文大皿	1650-60年代<柴I-81*>	九陶
19 古伊万里(国内) 染付點文輪花深皿(5)	1670-80年代<柴I-232>	九陶
20 古伊万里(国内) 染付双方波兎文皿	1640-60年代<柴II-101>	九陶
21 古伊万里(国内) 染付楼閣山水桜花文瓶	1660-70年代<柴II-325>	九陶
22 古伊万里(国内) 染付三海老文輪花皿	1670-90年代<柴II-369>	九陶
23 古伊万里(国内) 染付岩草花牡丹文水注	1670-90年代<柴II-547>	九陶
24 古伊万里(国内) 染付日本地図大皿	19世紀前半	佐美
25 柿右衛門様式 色繪花蝶図輪花形深鉢	18世紀前半<県重文>	佐美
26 柿右衛門様式 色繪花蝶八橋文壺	17世紀後半	佐美

- 27 柿右衛門様式 色絵花鳥図輪花皿
17世紀末-18世紀初頭 九陶
- 28 柿右衛門様式 色絵瓢箪鯉童子置物
17世紀末-18世紀初頭 九陶
- 29 柿右衛門様式 色絵花鳥文六角壺(2)
17世紀後半<*> 九陶
- 30 鍋島藩窯様式 染付青磁扇文皿
18世紀 佐美
- 31 鍋島藩窯様式 色絵石楠花躑躅図皿
18世紀 九陶
- 32 鍋島藩窯様式 染付芙蓉図輪花皿
18世紀 九陶
- 33 鍋島藩窯様式 染付鍋島藩窯図大皿
19世紀前半<泉重文> 佐美

<佐賀錦>

- | 作者名 | 作品名 | 時代 |
|----------|-------------|-----------|
| 34 佐賀錦 | 煙管入れ・煙草入れ | 江戸末期-明治前期 |
| 35 佐賀錦 | 懐紙入れ・花杏葉紋 | 江戸末期 |
| 36 佐賀錦 | 懐紙入れ・福寿文 | 大正時代 |
| 37 井手美弥子 | 佐賀錦三折りバッグ-1 | 現代 |
| 38 井手美弥子 | 佐賀錦バッグ-2 | 現代 |

<佐賀の現代工芸>

- 39 鈴木照次 木版摺更紗着物 松の花文
1978 (S.53) 第25回日本伝統工芸展 佐美
- 40 今泉今右衛門 吹墨露草文花瓶 現代
- 41 今泉今右衛門 薄墨珠樹文花瓶 現代
- 42 酒井田柿右衛門 濁手色絵枝垂れ桜文鉢
現代
- 43 酒井田柿右衛門 濁手色絵牡丹文蓋物 現代
- 44 中里太郎右衛門 唐津彫三島辰砂染付魚文壺
「玄海の魚たち」 現代
- 45 中里太郎右衛門 絵唐津松文大皿 現代
- 46 井上萬二 白磁黄緑釉朝顔彫文花瓶
現代
- 47 井上萬二 青白磁彫文花器 現代
- 48 小野珀子 袖裏金彩茜袖壺 現代
- 49 小野珀子 袖裏金彩黄袖花入 現代
- 50 中島 宏 青瓷釉彩彫文鉢 現代
- 51 中島 宏 青瓷彫文壺 現代
- 52 中村清六 白磁艶消線入花瓶 現代
- 53 中村清六 白磁艶消なぶり花器 現代
- 54 鈴木照次 木版摺更紗着物 松竹梅文
1975 (S.50) 第22回日本伝統工芸展 佐美



佐賀錦織りの実演コーナー



近代洋画 百武兼行コーナー

〈近代洋画〉				66	#	富士山（三保にて）	
作家名	題名	制作年	所蔵			1920（大正9）	佐美
55	百武兼行	バーナード城 下絵 c.1878（明治11）	佐美	67	#	伊豆山 1935（昭和10）	佐美
56	#	マンドリンを持つ少女 1879（明治12）	報効会	68	#	薔薇 1931（昭和6）	佐美
57	#	老婦人像 1882（明治15）頃	佐美				
58	#	鍋島直大像 1882（明治15）	報効会				
59	久米柱一郎	京都加茂川の景 1893（明治26）	佐美				
60	#	子供のいる風景 1895（明治28）	佐美				
61	#	残 睡下絵 1898（明治31）	佐美				
62	岡田三郎助	矢 調 べ 1893（明治26）	佐美				
63	#	西洋婦人像 1900（明治33）	佐美				
64	#	藤山雷太像 1914（大正3）	佐美				
65	#	花 野 1917（大正6）	佐美				

3. 企画展

「鍋島緞通 —もめんの華—」

会期 平成4年10月9日(金)～11月3日
(火・祝日) 23日間

会場 美術館 2・3・4号展示室

観覧料 大人 大学生
個人 510円 250円
団体 410円 150円

* 高校生以下は無料
団体は20名以上

主旨

遊牧民族のあいだで織られ流布する毛氈の歴史は古く、紀元前5～3世紀にさかのぼる遺物が発見されている。海を渡った敷物は氈(かも)とよばれ、7～8世紀以降日本では正倉院御物に名を連ねる宝物であり、江戸幕府では年貢扱いの貴重品とされた。

わが鍋島緞通は江戸もなかばの元禄時代、中国の技法から編み出され、世界的にも珍しい木綿の素材は、羊毛や絹、麻の織物にはない独特の感触と斬新なデザインで評判になり、鍋島藩御用、年々の進物品として贈られる以外は売買不可の時代が長く、その希少価値もあいまって伝説の敷物であった。

この企画展はおよそ三百年の歴史をもつ鍋島緞通、さらに鍋島緞通の影響下誕生した「赤穂緞通」、「堺緞通」もあわせて、染織工芸史のなかでも異色の、日本産木綿の敷物を集大成する試みとなった。

鍋島家ならびにその姻戚関係にある旧大名家伝世の鍋島緞通、一般に販売された明治以降の鍋島緞通、二軒の織り元が技術を競った大正時代の鍋島緞通(92件123枚)に加えて、堺緞通(6件8枚)・赤穂緞通(9件12枚)などの名品107件143枚を一堂に展示するとともに、描かれた緞通として絵画・陶磁器(16件29点)、鍋島家史料など(13件13点)を紹介することができた。

図録 四六版12切変形(27×21cm)
ロイヤルアート紙128ページ
(内カラー80ページ)

講演会 「赤穂緞通—手わざを語る—」
10月31日(土)
赤穂市ふるさと文化賞受賞者
赤穂緞通織り手 阪口きり江氏

実演 鍋島緞通織りの実演
10月11日(日)・25日(日)
(有)吉島敷物・4号展示室会場内

茶会 佐賀県茶道連合会協賛
「緞通茶会」
10月18日(日)
茶室清恵庵および美術館ロビー



大正時代から昭和前期の鍋島緞通(第3会場)

第3回 福岡・佐賀・長崎三県合同企画展

黄檗禅の美術

主催 佐賀県立美術館・長崎県立美術館
福岡県立美術館

会期 平成5年
1月11日（木）～2月21日（日） 福岡
2月25日（木）～3月7日（日） 佐賀
3月11日（木）～3月21日（日） 長崎

会場 佐賀県立美術館 2, 3, 4号展示室
長崎県立美術館
福岡県立美術館

観覧料 大人 大高生 中小生
個人 500円 300円 200円
（佐賀会場のみ高校生以下無料）

図録 A4版変形（29,5×22,5cm）
アート紙 144ページ 図版カラー

主旨

江戸時代初め長崎を窓口にして移入された黄檗宗の文化は、明末清初の中国文化を色濃く反映している法要、建築、絵画、書、彫刻、工芸品などによって日本の文化史上に大きな影響を与えた。

特に、長崎・福岡・佐賀の三県には、在日華僑や大名の庇護のもとに黄檗寺院が集中している。これらの寺院は中国清時代の文化を積極的に摂取しながらもそれぞれの土地になじむかたちへと消化していき、三県の文化に独特の彩りをそえている。



平成4年は黄檗宗宗祖隠元禅師生誕400年にあたり、これを機に三県合同企画展として黄檗文化を取りあげることにより、北部九州の文化の一面を探った。



ポスター



図録

3. 普及活動

(1) 資料の刊行

図録

- ・「鍋島緞通—もめんの華—展」図録
同名企画展にともない刊行。カラー図版 80 頁、
ほかモノクロ図版、解説等総計 128 頁。A 4
版変形、ロイヤルアート紙。
印刷部数 900 部
- ・「黄檗禅の美術展」図録
同名第 3 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展
にともない刊行。
カラー図版（解説付）96 頁、ほか各論等総計
144 頁。A 4 版変形、アート紙。
印刷部数 400 部（佐賀会場分）。

※ 館報、年報、調査研究書については、18 頁
参照。

(2) 実技講座

- 内 容 石膏デッサン教室
講 師 九州女子短期大学教授 深川善次氏
会 期 平成 4 年 7 月 19 日(月)～23 日(金)
(5 日間、午後 2 時～4 時)
会 場 美術館画廊および研究室
受講者 24 名

(3) 研究講座

記念講演会

- 演 題 「赤穂緞通—手わざを語る—」
講 師 赤穂緞通織り手 阪口きり江氏
日 時 10 月 31 日(土) 午後 2 時～4 時
会 場 博物館教室
聴講者 40 人

演 題 「佐賀の黄檗僧潮音禪師」

- 講 師 黒瀬潮音研究会 正満英利
日 時 2 月 27 日(土) 午後 2 時～4 時
会 場 美術館 1 号 A 展示室
聴講者 130 人

(4) 館外普及活動

- 9 月 8、10、22 日 「鍋島緞通—もめんの華—
展」普及
1 月 14 日・25 日 「黄檗禅の美術展」普及

(5) 映画会

- 平成 4 年度夏休み親と子の映画会
期 日 8 月 9 日(日)
会 場 佐賀県立美術館ホール
上映時間 10:30～15:30
上映題目 「ガッツ親父とオサム」「キン肉マ
ン」「はくの熊おじさん」「トンデ
ンモネズミ大活躍」

* 8 月 8 日(土) は台風のため中止。

4. 資料調査

4 月 11 日	企画展「黄檗禅の美術」にともなう調査	(鹿島市)	学芸員	竹下正博
4 月 21 日	企画展「鍋島緞通」にともなう調査	(北九州市)	学芸員	宮原香苗
4 月 22 日	企画展「鍋島緞通」にともなう調査	(有田町・多久市)	学芸員	宮原香苗
5 月 13 日	美術資料調査	(福岡市)	企画普及係長	松本誠一
5 月 16 日～19 日	企画展「黄檗禅の美術」にともなう調査	(高崎市・宇治市)	学芸員	竹下正博
6 月 9 日	企画展「黄檗禅の美術」にともなう調査	(神埼町)	学芸員	竹下正博ほか
6 月 10 日	企画展「黄檗禅の美術」にともなう調査	(鹿島町)	学芸員	竹下正博ほか
6 月 11 日	企画展「黄檗禅の美術」にともなう調査	(鹿島町)	学芸員	竹下正博ほか
7 月 1 日～2 日	企画展「黄檗禅の美術」にともなう調査	(鹿島町)	学芸員	竹下正博ほか
9 月 21 日	企画展「黄檗禅の美術」にともなう調査	(鹿島町)	学芸員	竹下正博

5. 観覧状況

展 覧 会 名	有 料						無 料	
	個 人			団 体			大 人	大・高
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小		
退官記念 小川 泰彦 染色展							1,425	267
第 23 回 日 展	16,661	2,807	1,601	114	458	1,756		
第 5 回九州国画会写真部佐賀支部展							745	13
第 75 回 佐賀美術協会展							2,830	473
ホヘミアの アールヌーヴォーグラス展	9,001	731	753	268	314			
第 17 回 佐賀県書作家協会展							1,799	234
第 9 回 佐賀県写真協会展							1,850	30
第 23 回 独立 C S 展							1,767	150
第 33 回 東光会佐賀支部緑光会展							542	42
第 20 回 七夕書道展							574	35
第 12 回 創元会佐賀支部展							614	22
第 13 回 九州新工芸展							1,409	45
第 24 回 佐賀県勤労者美術展							944	14
鍋島緞通 - もめんの華 - 展	1,959	(大) 48			103		25	
第 42 回 佐賀県美術展	4,215	(大) 151		245	170		143	(高・中・小) 1,943
第 4 回 佐賀県高等学校 総合文化祭美術・工芸展							616	190
第 33 回 佐賀県学童美術展							2,015	124
第 33 回 佐賀大学教育学部美術工芸科総合展							363	226
第 13 回 佐賀新聞学生書道展							244	4
第 4 回 高等学校総合文化祭書道展							314	152
第 15 回 さ が 行 動 展							522	79
井手 誠 一 回 顧 展	3,736	276	178	2	202	54		
第 7 回 総合美術ハチロク展							1,274	103
第 37 回 佐賀大学教育学部 美術工芸科卒業制作展							866	231
第 3 回 福岡・佐賀・長崎三県合同企画展 黄 檗 禪 の 美 術	1,072	(大) 35		41	42		10	177
第 77 回 日本美術院展	6,889	430	719	20	65	363		
第 15 回 二紀佐賀グループ展							386	31
第 9 回 佐賀水墨画会展							960	7
合 計	43,533	4,478	3,251	690	1,354	2,173	22,237	4,592

無 料			合 計	開館日数	一日平均	会期期間	会 場	主 催 者
中・小	招待者	優待者						
146	10		1,848	6	308	4/14(水)～4/19(日)	4号	佐賀大学教育学部
	6,696		30,093	20	1,505	4/25(土)～5/17(日)	博、美全室	西日本新聞社
261			1,019	6	170	5/26(水)～5/31(日)	4号	九州国画会写真部佐賀支部
212	1		3,516	10	352	6/4(水)～6/14(日)	2～4号	佐賀美術協会
	6,290		17,357	26	668	6/27(日)～7/26(日)	2・3号	佐賀新聞社
			2,033	6	339	7/7(水)～7/12(日)	4号	佐賀県書作家協会
144			2,024	6	337	7/14(水)～7/19(日)	4号	佐賀県写真協会
308			2,225	6	371	7/21(水)～7/26(日)	4号	独立C S
131			715	6	119	7/28(水)～8/2(日)	4号	緑光会
494			1,103	4	276	8/5(水)～8/7(金)・8/9(日)	4号	佐賀県書道教育連盟
65			701	6	117	8/18(水)～8/23(日)	4号	創元会佐賀支部
131			1,585	6	264	8/25(水)～8/30(日)	4号	九州新工芸家連盟
103	5		1,066	5	213	9/9(水)～9/13(日)	4号	佐賀県労政訓練課
369	1,033	17	3,554	23	155	10/9(水)～11/3(水)	2～4号	佐賀県立美術館
	949	808	8,624	9	958	11/14(水)～11/23(月)	博、美全室	佐賀県教育庁文化課
122			928	4	232	11/25(水)～11/29(日)	2～4号	佐賀県教育庁文化課
2,715			4,854	6	809	12/1(水)～12/6(日)	4号	佐賀県造形教育研究会
88	13		690	6	115	12/8(水)～12/13(日)	4号	佐賀大学教育学部
171			419	6	70	12/15(水)～12/20(日)	4号	佐賀新聞社
92			558	6	93	12/22(水)～12/27(日)	4号	佐賀県教育庁文化課
53			654	6	109	1/12(水)～1/17(日)	4号	さが行動美術協会
	1,752		6,200	11	564	1/20(水)～1/31(日)	2～4号	佐賀新聞社
101			1,478	5	296	2/10(水)～2/14(日)	4号	野中瑛碩
229			1,326	6	221	2/16(水)～2/21(日)	4号	佐賀大学教育学部
98	742	24	2,241	10	224	2/25(水)～3/7(日)	2～4号	佐賀県立美術館
	2,037		10,523	10	1,052	3/11(水)～3/21(日)	2～4号	佐賀新聞社
92			509	5	102	3/24(水)～3/28(日)	4号	二紀さがグループ
69			1,036	6	173	3/30(水)～4/4(日)	4号	佐賀水墨画会
6,194	19,528	849	108,879	232	469			

6. ホール・画廊・研修室

ホール

月別	利用団体数	延入場者数	音 楽	演 劇	洋舞・邦舞	映写会	その他	備 考
4	8	1,781	7			1		
5	7	2,721	2			2	3	
6	8	2,584	3	1		1	3	
7	6	5,535	5				1	
8	12	4,096	6	1		2	3	
9	9	2,415	5			1	3	
10	9	2,408	5	1			3	
11	18	5,658	9	1		1	7	
12	12	2,685	9	2			1	
1	10	2,600	8	1		1		
2	8	2,898	3	1		1	3	
3	12	4,202	8	2		1	1	
計	119	39,583	70	10		11	28	

画廊・研修室

月別	展 覧 会			そ の 他
	利用団体数	延会期日数	入場者数	
4	4	24	2,817	作品合評会 1回 1日 12人参加
5	4	18	3,416	
6	2	12	2,209	
7	3	18	1,982	
8	4	24	1,664	
9	5	28	1,247	
10	5	28	2,683	
11	2	11	1,235	
12	3	18	1,385	
1	4	22	1,917	
2	4	23	4,520	
3	5	26	2,690	
計	45	252	27,765	



1. F-20-3-1
岡田三郎助 OKADA, Saburōsuke
1869~1939
ローマの古橋
Old Bridge in Roma
1930 (昭和5)
油彩・キャンバスボード 22.0×27.0
右下「昭和五年 ロオマニテ 岡田三。」
平成4年度 購入 9451



2. F-20-3-1
高木背水 TAKAGI, Haisui
1877~1943
静物「花」
Still Life: Flowers
1920年代
油彩・キャンバス 46.0×38.0
右下「背水 巴里」
平成4年度 購入 9362



3. F-20-3-1
北島浅一 KITAJIMA, Asaichi
1887~1948
フランスの女
French Woman
1922 (大正11)
油彩・板 21.8×26.7
裏面「北島浅一作」
平成4年度 寄贈 9330



4. F-20-3-1
御厨純一 MIKURIYA, Junichi
1887~1948
黒衣の婦人
Woman in Black Dress
1926-28 (昭和11-13)
油彩・キャンバス 65.0×50.5
右下「J. MICRIA」
平成4年度 購入 9454



5. F-20-3-1
御厨純一 MIKURIYA, Junichi
1887~1948
風景(パリ風景)
Paysage: Paris
1928 (昭和3)
油彩・キャンバス 91.1×72.8
右下「1.1928. J. MICRIA」
平成4年度 購入 9455



6. F-20-3-1
井手誠一 IDE, Seichi
1928~1980
長崎の山と海(右)
Mountains and Sea in Nagasaki (right)
1965 (昭和40)
油彩・キャンバス 162.5×130.3
右下「Seitchi Ide S」
平成4年度 寄贈 9391



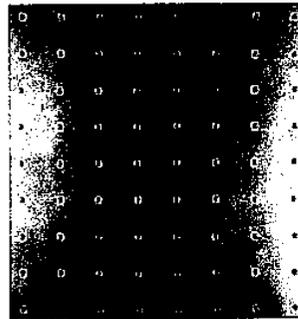
7. F-20-3-1
井手誠一 IDE, Seichi
1928~1980
長崎の山と海 (緑)
Mountains and Sea in Nagasaki (green)
1965 (昭和40)
油彩・キャンバス 162.5×130.5
左下「Seichi Ide S'65」
平成4年度 寄贈 9392



10. F-20-3-1
井手誠一 IDE, Seichi
1928~1980
まどろみ「マリ・アズマ像」
Knap:Portrait of Mari Azuma
1977 (昭和52)
アクリル・キャンバス 72.8×60.8
右上「Seichi Ide S'77 Dec12」
平成4年度 寄贈 9450



8. F-20-3-1
井手誠一 IDE, Seichi
1928~1980
長崎の山と海 (左)
Mountains and Sea in Nagasaki (left)
1965 (昭和40)
油彩・キャンバス 162.0×130.5
左下「Seichi Ide S'65」
平成4年度 寄贈 9393



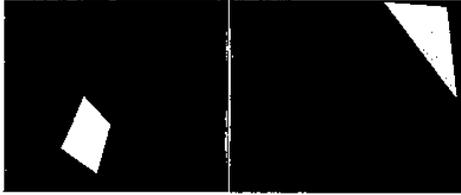
11. F-20-3-1
古川吉重 FURUKAWA, Yoshishige
1921~
無題
Untitled
1969-70 (昭和44-45)
アクリル・穴ドメ金具・キャンバス 151.2×139.9
平成4年度 寄贈 9360



9. F-20-3-1
井手誠一 IDE, Seichi
1928~1980
神戸
Kôbe
1968 (昭和43)
油彩・キャンバス 182.3×227.3
右下「68 Seichi Ide S」
平成4年度 寄贈 9397



12. F-20-3-1
古川吉重 FURUKAWA, Yoshishige
1921~
L-57
1982-83 (昭和57-58)
油彩・キャンバス 178.0×208.0
平成4年度 購入 9364



13. F-20-3-1

古川吉豊 FURUKAWA, Yoshishige

1921~

L. 5 - 8

1987 (昭和 62)

油彩・キャンバス 178.0×417.0

平成4年度 購入 9365



1. F-20-3-0

岡田三郎助 OKADA, Saburōsuke

1869~1939

裸婦 (デッサン)

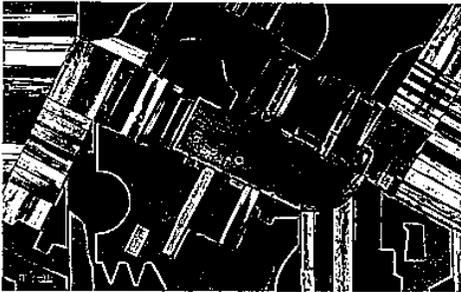
Drawing:Nude

1936 (昭和 11)

コンテ・紙 34.0×32.0

左上「岡田、三、昭和十一。」

平成4年度 購入 9363



14. F-20-3-1

吉田西縉 YOSHIDA, Seibin

1923~

赤と木の構成

Construction of Red and Woods

1991 (平成 3)

アクリル・金具・板 161.5×260.5

左下「-91.-Seibin」

平成4年度 購入 9361



15. F-20-3-1

吉武研司 YOSHITAKE, Kenji

1948

肖像—ふたり—

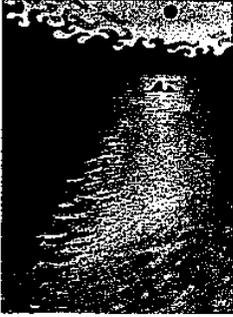
Portrait:Two of Us

1982 (昭和 57)

油彩・キャンバス 200.0×200.0

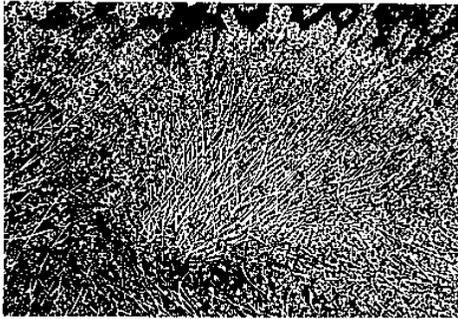
右下「Ken 1982」

平成4年度 寄贈 9352



1. F-20-4-2

牧野宗則 MAKINO, Munenori
1940~
五彩の海
Sea of Colors
1991 (平成3)
紙・多色木版 49,3×35,3
右下「まきのむねのり、宗則」
平成4年度 購入 9399



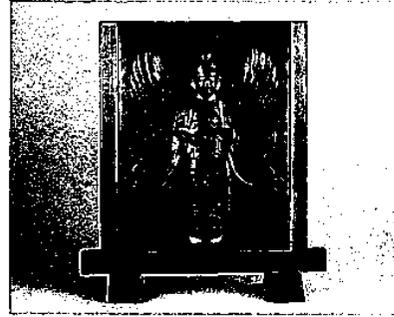
2. F-20-4-2

牧野宗則 MAKINO, Munenori
1940~
むらさきの風
Purple Wind
1991 (平成3)
紙・多色木版 34,8×49,7
右下「まきのむねのり、宗則」
平成4年度 購入 9400



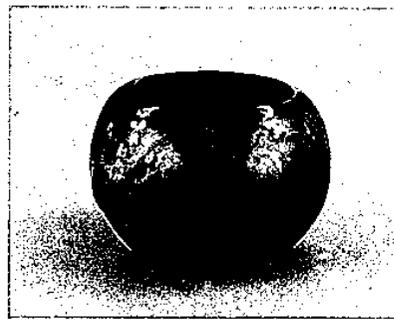
3. F-20-4-2

牧野宗則 MAKINO, Munenori
1940~
創世
Genesis
1992 (平成4)
紙・多色木版 34,7×49,8
右下「まきのむねのり、宗則」
平成4年度 購入 9401



1. F-40-1

石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
鍍金仏 迦陵頻伽 (かりょうびんか)
Holy Figure:KARYO-BINGA
1949 (昭和24)
瓦輪・面 33,8×26,9/総高40,4
裏面「昭和二十四年秋 石田素映作」
平成4年度 購入 9415



2. F-40-1

石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
鍍金 建水
KENSUI:Water Dropper
昭和10~20年代
瓦輪 胴径12,6×11,6×8,0H
底部彫銘「素映作」
平成4年度 購入 9416



3. F-40-1

石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
鍍金 一輪差
Small Vase
昭和10~20年代
瓦輪 口径/胴径2,3/8,9×10,6H
底部彫銘「素映」
平成4年度 購入 9417



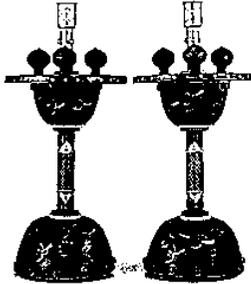
4. F-40-1

石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
鍛金置物 兎
Figure of Hare
大正時代
銅 胴径 21.8×11.3×10.0H
背面彫銘「英一作」
平成4年度 寄贈 9422



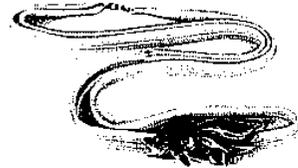
7. F-40-1

石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
鍛金帶留 松
Ornament of OBI-Belt: Pine-Leaves
制作年不明
銀・絹組紐 2.8×4.9×0.9 厚み
枝下部彫銘「英一作」
平成4年度 寄贈 9425



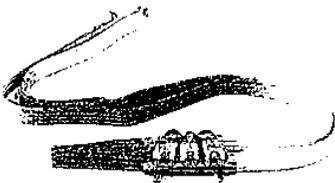
5. F-40-1

石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
鍛金 三宝燭台 1対 (2)
A Pair of Candlestands: "SANPO"
1925 (大正 14)
鉄・真鍮・鍍金 径 24.3×53.7H
底部彫銘「大正十四年正月 石田英一作」
平成4年度 寄贈 9423



8. F-40-1

石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
鍛金帶留 金魚
Ornament of OBI-Belt: Goldfish
制作年不明
銀・絹組紐 2.7×5.9×1.0 厚み
無銘
平成4年度 寄贈 9426



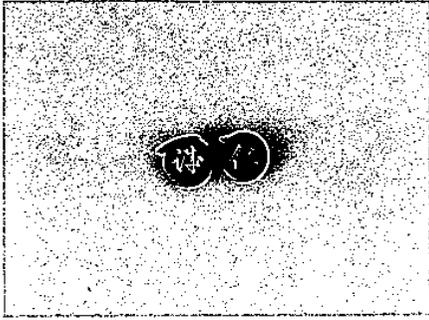
6. F-40-1

石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
鍛金帶留 文鳥
Ornament of OBI-Belt: Paddy Birds
1934 (昭和 9)
銀・絹組紐 2.8×4.4×1.1 厚み
枝下部彫銘「英一作」
平成4年度 寄贈 9424

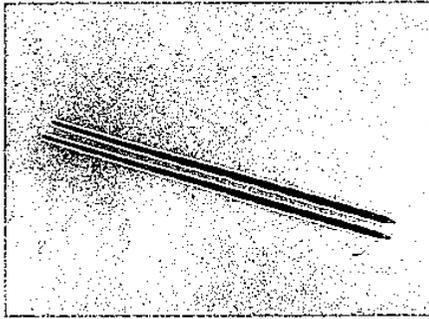


9. F-40-1

石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
鍛金帶留 薔薇
Ornament of OBI-Belt: Rosebud
制作年不明
銀 4.0×6.4×1.3 厚み
下部彫銘「英一作」
平成4年度 寄贈 9427



10. F-40-1
石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
カフス釦「誠・仁」 1組 (2)
Cuff Buttons
昭和10年頃まで
銀 2.2×0.1厚み
表面彫銘「瑛道知作」
平成4年度 寄贈 9428



11. F-40-1
石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
鍍金火箸 大鈍豆 (おなたまめ) 1揃 (2)
A Pair of Iron-Chopsticks: Big Beans
制作年不明
鉄・一部鍍金 長さ 32.4
無銘
平成4年度 寄贈 9429

12. F-40-1-0
石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
石田英一印章 1組4顆・朱墨1
Stamps of ISHIDA EIICHI
年代不明
黄楊(ツゲ)など 2.6×2.4×3.2H
「英一」「瑛咲」
平成4年度 寄贈 9430

13. F-40-1-0
石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
石田英一作品台 1組3枚
Display Boards of ISHIDA EIICHI
年代不明
黄楊・榿など 27.3×39.5×1.0H
箱書に「石田瑛咲」
平成4年度 寄贈 9431

14. F-40-1-0
石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
石田英一関係辞令他 1括20枚
DocumentsofISHIDAEIICHI
1899~ (明治32)
紙・印刷 47.0×60.5etc.
平成4年度寄贈 9432

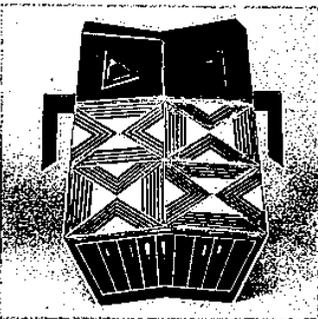
15. F-40-1-0
石田英一 ISHIDA, Eiichi
1876~1960
石田英一関係メダル 1括12点
Prize Medals of ISHIDA EIICHI
1914~ (大正3)
金・銀 (真鍮) など 径8.3etc.
平成4年度 寄贈 9433

16. F-40-1-0
石田尚友 ISHIDA, Hisatomo
1912~1938
石膏像 祖母
Head of Grandmother
1932 (昭和7)
石膏・銀彩色 17.6×24.4×32.3H
彫名「尚友作 昭和七年」
平成4年度 寄贈 9434

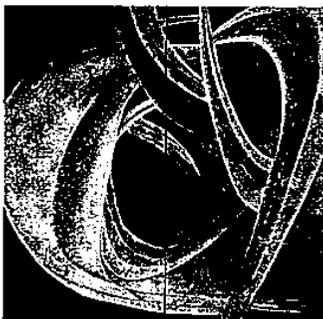
17. F-40-1-0
石田尚友 ISHIDA, Hisatomo
1912~1938
石膏像 兎
Study: Figure of Hare
制作年不明
石膏 22.5×12.6×9.3H
彫名「尚友作」
平成4年度 寄贈 9435



18, F-40-1
松尾忠次 MATSUO, Tadatsugu
1909~
金工 作品
WORK
1964 (昭和 39)
絹 44.2×20.3×53.6H
底彫名「忠次作」
平成4年度 購入 9403



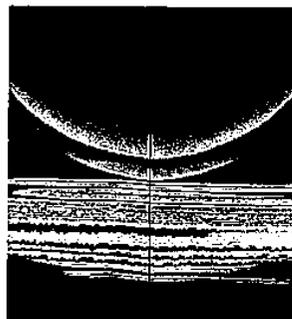
19, F-40-1
松尾忠次 MATSUO, Tadatsugu
1909~
金工 双魚
Work:GEMINATE FISH
1985 (昭和 60)
鉄・銀象嵌 41.5×18.5×45.4H
右側面象嵌銘「T.M.」
平成4年度 購入 9402



20, F-40-5
小川泰彦 OGAWA, Yasuhiko
1927~
染色屏風 春近し
Folding-Screens:EARLY SPRING
1964 (昭和 39)
木綿地二曲屏風 147.3×148.2
右下銘「小川」
平成4年度 寄贈 9333



21, F-40-5
小川泰彦 OGAWA, Yasuhiko
1927~
染色屏風 深蒼
Folding-Screens:DEEP BLUE
1967 (昭和 42)
木綿地二曲屏風 164.1×140.4
右下銘「泰」
平成4年度 寄贈 9334



22, F-40-5
小川泰彦 OGAWA, Yasuhiko
1927~
染色屏風 有明の窗
Folding-Screens:SKY over the ARIAKE
1980 (昭和 55)
木綿地二曲屏風 177.0×155.4
右下銘「泰」
平成4年度 寄贈 9335



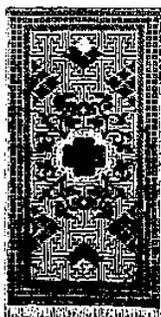
23. F-40-5

福岡・田中洋子 TANAKA, Yōko
 1949~
 鍋島織通 「鍋島織通」 字文
 NABESHIMA-Rug:DANTSU Characters
 1993 (平成5年)
 木綿一畳・片房 187.0×95.2/15mm
 平成4年度 発生 9414



26. F-40-5

佐賀
 鍋島織通 蔓牡丹唐草文
 NABESHIMA-Rug:Peony Vine Pattern
 大正時代
 木綿一畳・房カット 186.7×94.0/10mm
 平成4年度 寄贈 9332



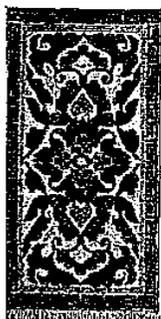
24. F-40-5

福岡・吉島敷物 YOSHIJIMA SHIKIMONO
 鍋島織通 木瓜唐草に松皮菱文
 NABESHIMA-Rug:Mokkō & Peony Scroll
 1993 (平成5年)
 木綿一畳・片房 191.3×96.2/15mm
 平成4年度 発生 9418



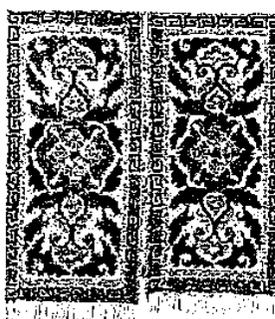
27. F-40-5

佐賀
 鍋島織通 蟹牡丹文
 NABESHIMA-Rug:Crablike Peony Pattern
 江戸一明治前期
 木綿一畳・片房 171.7×88.7/15mm
 平成4年度 購入 9411



25. F-40-5

佐賀
 鍋島織通 蟹牡丹文
 NABESHIMA-Rug:Crablike Peony
 明治中~後期
 木綿一畳・片房 183.3×93.5/15mm
 平成4年度 寄贈 9331



28. F-40-5

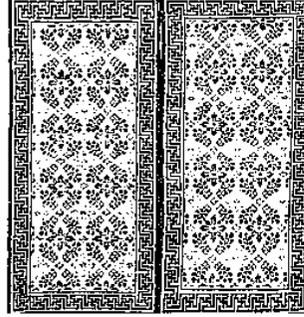
佐賀
 鍋島織通 蟹牡丹文 1組(2)
 NABESHIMA-Rugs:Crablike Peony
 明治中~後期
 木綿一畳・片房 193.5×91.6/30mm
 平成4年度 寄贈 9419

工芸〈織通〉



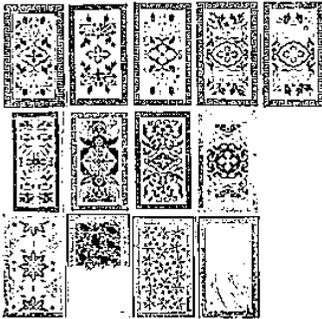
29. F-40-5

佐賀
鍋島織通 蟹牡丹文 1組 (2)
NABESHIMA-Rugs:Crablike Peony
明治中一後期
木綿一畳・片房 198.0×92.5/25mm
平成4年度 寄贈 9420



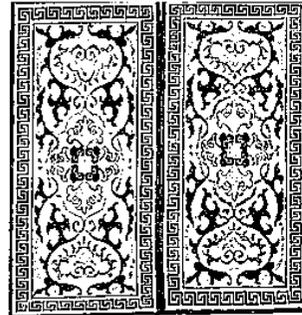
32. F-40-5

大阪
堺織通 花菱格子文 1組 (2)
SAKAI-Rugs:Floral Pattern
昭和前期
木綿一畳 188.0×90.7/7mm
平成4年度 購入 9406



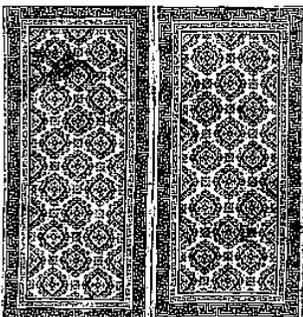
30. F-40-5-0

佐賀・厚生舎 KOSEISHA, Saga
鍋島織通 図案集 1組 (13)
NABESHIMA-Rug Patterns
明治中一大正期
紙本着色 36.5×21.5 etc.
平成4年度 寄贈 9440



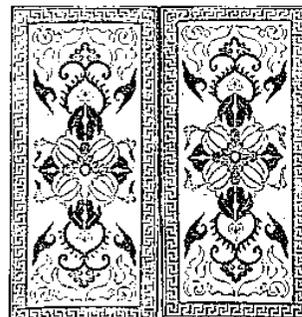
33. F-40-5

大阪
堺織通 蔓蟹牡丹文 1組 (2)
SAKAI-Rugs:Floral Vine Pattern
昭和前期
木綿一畳 186.5×87.3/10mm
平成4年度 購入 9407



31. F-40-5

大阪
堺織通 唐花詰文 1組 (2)
SAKAI-Rugs:Floral Check Pattern
昭和前期
木綿一畳 188.3×89.8/5mm
平成4年度 購入 9405



34. F-40-5

大阪
堺織通 蟹牡丹文 1組 (2)
SAKAI-Rugs:Crablike Peony
昭和前期
木綿一畳 196.7×93.4/5mm
平成4年度 購入 9412



35, F-40-5

大阪

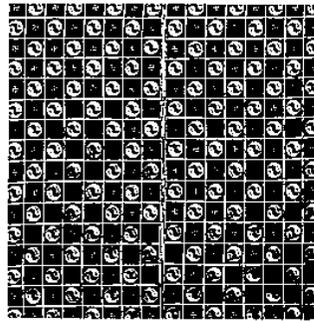
堺絨通 亀甲に花菱文

SAKAI-Rug:Floral Pattern

明治時代

木綿一巻 185,2×92,0/5mm

平成4年度 寄贈 9441



38, F-40-5

兵庫

赤穂絨通 市松に二つ巴形文 1組(2)

AKO-Rugs:Checker Pattern

昭和前期

木綿一巻 185,0×90,4/5mm

平成4年度 購入 9408



36, F-40-5

大阪

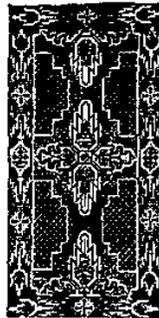
堺絨通 唐花詰文

SAKAI-Rug:Floral Check Pattern

昭和前期

木綿一巻 190,2×93,7/5mm

平成4年度 寄贈 9442



39, F-40-5

兵庫

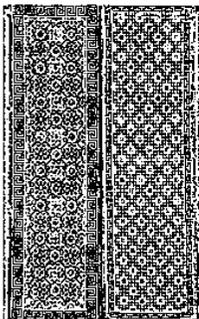
赤穂絨通 利剣文

AKO-Rug:Sword Design

昭和前期

木綿一巻 184,5×89,8/5mm

平成4年度 購入 9409



37, F-40-5

大阪

堺絨通 唐花繁文 (小敷物 表・裏)

SAKAI-Small Rug:Floral Pattern

昭和前期

木綿半幅両面織り 189,8×45,2/5mm

平成4年度 寄贈 9443



40, F-40-5

兵庫

赤穂絨通 蟹牡丹文

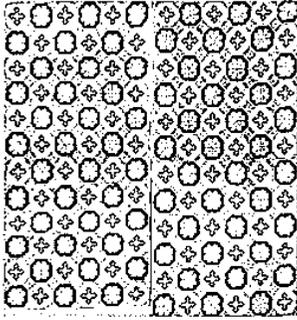
AKO-Rug:Crablike Peony

昭和前期

木綿一巻 181,5×90,3/5mm

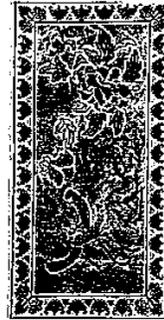
平成4年度 購入 9410

工芸 〈織通ほか〉



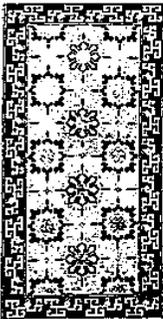
41. F-40-5

兵庫
赤穂織通 市松に菊十字文 1組 (2)
AKO-Rugs:Floral Check Pattern
昭和前期
木綿一畳 190.3×89.6/9mm
平成4年度 購入 9413



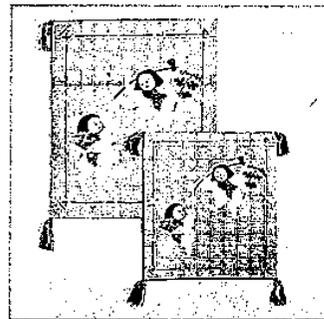
44. F-40-5

兵庫
赤穂織通 牡丹鳳凰文
AKO-Rug:Phoenix and Peony
昭和前期
木綿一畳 180.2×88.4/6mm
平成4年度 寄贈 9445



42. F-40-5

兵庫
赤穂織通 唐花格子文
AKO-Rug:Floral Check Pattern
明治中一後期
木綿一畳 185.7×92.7/5mm
平成4年度 寄贈 9421



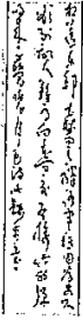
45. F-40-5

京都
袱紗 御所人形 1組 (大・小)
FUKUSA-Covers:Gosho Dolls
1941 (昭和16)
絹地刺繍 70.8×59.7/53.8×48.4
平成4年度 寄贈 9446



43. F-40-5

兵庫
赤穂織通 南天文
AKO-Rug:Nandin Design
昭和前期
木綿一畳 182.3×88.7/5mm
平成4年度 寄贈 9444



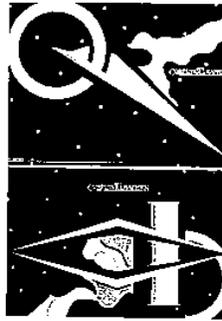
1. F-10-1
 大槻容子 ŌENOKI, Yōko
 1935～
 鄭紀詩
 Chinese Poem by Zheng Ji
 1992 (平成4)
 紙本墨書 228.5×53.3
 佐賀県知事賞
 平成4年度 管理換 9371



2. F-20-2-1
 桜木淳子 SAKURAGI, Jyunko
 1971～
 ひととき
 Tea Break
 1992 (平成4)
 岩絵具・紙 116.7×90.8
 佐賀県知事賞
 平成4年度 管理換 9370



3. F-20-3-1
 牛丸和人 USHIMARU, Kazuto
 1961～
 輪廻の回廊
 Corridor of Transmigration
 1992 (平成4)
 油彩・キャンパス 162.0×130.6
 佐賀県知事賞
 平成4年度 管理換 9375



4. F-20-0
 朝重利文 TOMOSIGE, Toshifumi
 1957～
 JAPAN COMPUTER GRAPHICS I・II
 1992 (平成4)
 デザイン(2) 72.9×102.8
 文部大臣奨励賞
 平成4年度 管理換 9374



5. F-30-0
 角孝政 SUMI, Takamasa
 1968～
 乞食行御
 Wandering Tramp
 1992 (平成4)
 樹膠 H222.5
 佐賀県議会議員賞
 平成4年度 管理換 9372



6. F-50
 古賀宣義 KOGA, Nobuyoshi
 1924～
 葦(くさむら)のティタイム
 Tea time in the Grass
 1992 (平成4)
 写真(カラー) 50.7×76.1
 佐賀県知事賞
 平成4年度 管理換 9373

資料の概要

1. 寄託資料

資 料 名	数 量	寄 託 者	備 考
岡田三郎助「漆々園にて」	1点	神奈川県・宮田工業㈱	

2. 資料の貸出状況

資 料 名	貸 出 先 ・ 目 的	貸 出 ・ 返 却
小川泰彦作品 明け染めし ほか3点	小川泰彦氏退官記念展	H4.4.13~5.6
久米桂一郎「京都加茂川の景」 1867年パリ万博カタログ 15件33点	博物館明治村 久米邦武と久米桂一郎展	H4.4.20~5.20
鍋島織通 10件12枚	筑前染と織の美術館 日本の織通展	H4.5.28~7.29
交差する生活 ほか2点	第7回国民文化祭	H4.9.24~11.13
石本秀雄作品 11点	河村美術館	H4.3.5~11.2
色絵花蝶図輪花形深鉢 1点	九州陶磁文化館 福岡県立美術館 大阪市立東洋陶磁美術館 ヨーロッパに開花した色絵陶磁器 柿右衛門展	H5.2.15~

博物館・美術館職員名簿 (平成5年4月1日現在)

課名	職名	氏名	課名	職名	氏名		
総務課	館長	飯盛邦尚	学芸課	学芸課長	木下巧		
	副館長	森醇一朗		資料係	資料係長	蒲原宏行	
	庶務管理係	総務課長 (係長事務取扱)			菊池文夫	主学芸査員	川副義敦
		専門員			一九正美	学芸員	山崎和文
		主査			東島幸子	学芸員	竹下正博
		主事			石橋邦広	非常勤嘱託	今川泰靖
		主事		赤星由季子	企画普及係	企画普及係長	松本誠一
		事務員		坂井卓次		主学芸査員	宮原香苗
		事務員		小石武彦		主学芸査員	福井尚寿
		技術員		近藤誠往		主事	中原正登
	非常勤嘱託	牟田壽吉	計 21名				

佐賀県立博物館
佐賀県立美術館 年報 第23号

発行年月日 平成5年11月30日
編集・発行 〒840 佐賀市城内1-15-23
Tel 0952-24-3947

佐賀県立博物館
佐賀県立美術館
印刷 株式会社 日之出印刷